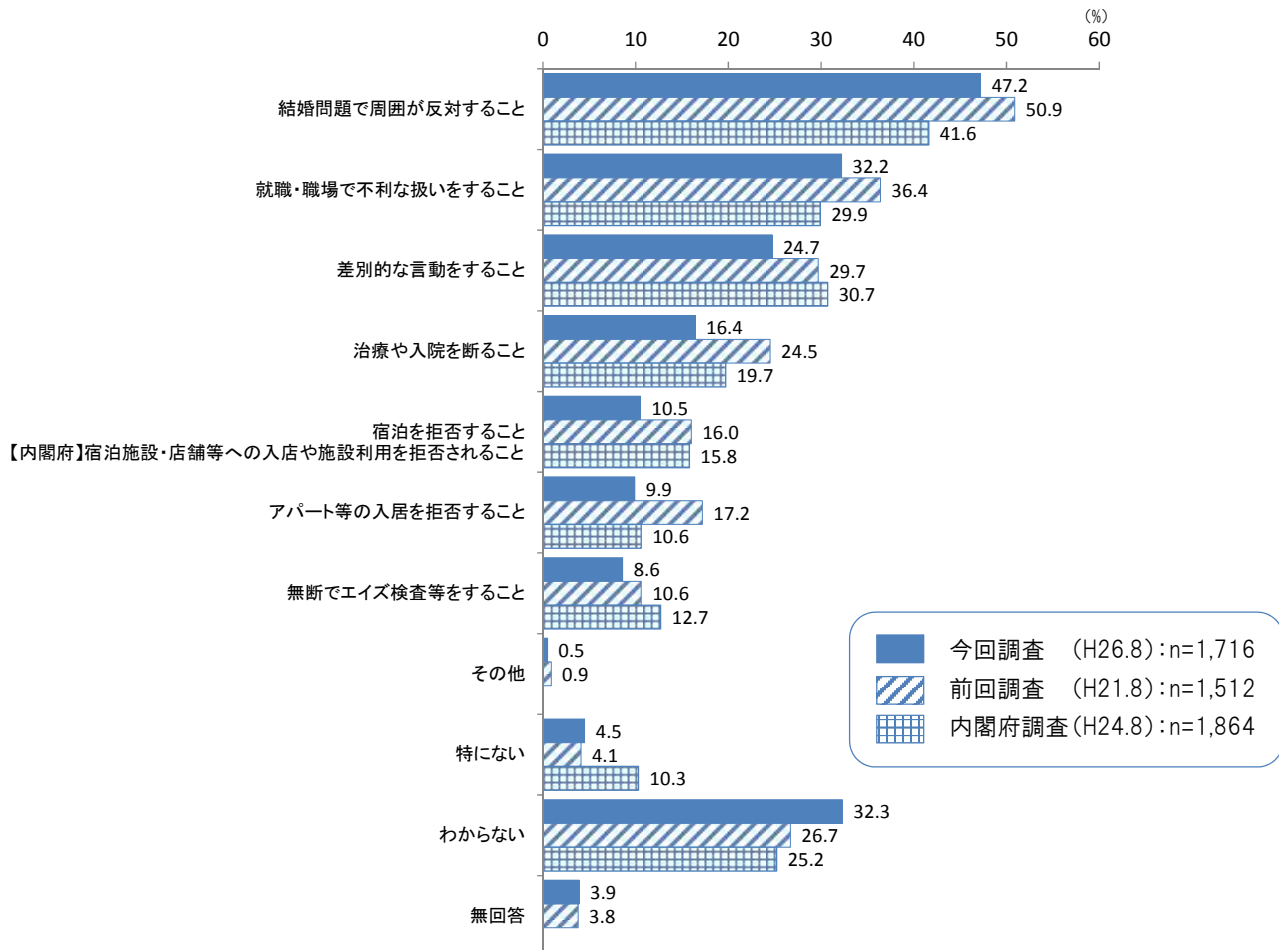


問20 あなたは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

図20-1 HIV感染者等に関し、どのような人権問題が起きているか【全体】

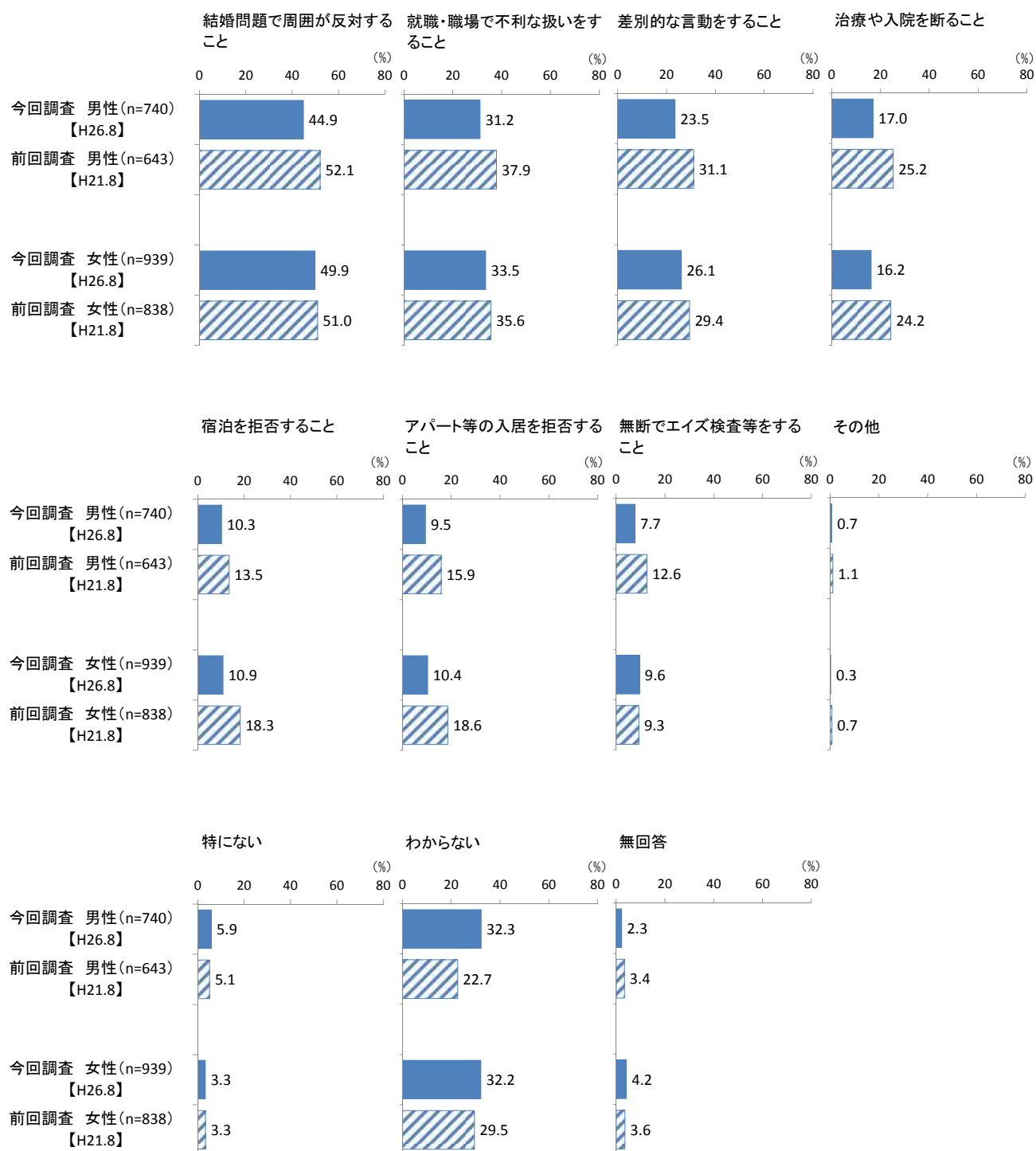


「結婚問題で周囲が反対すること」が5割

HIV感染者等に関し、どのような人権問題が起きているかについて、「結婚問題で周囲が反対すること」と回答した割合が47.2%と最も高く、次いで「就職・職場で不利な扱いをすること」(32.2%)、「差別的な言動をすること」(24.7%)となっている。なお、「わからない」と回答した割合も32.3%となっている。

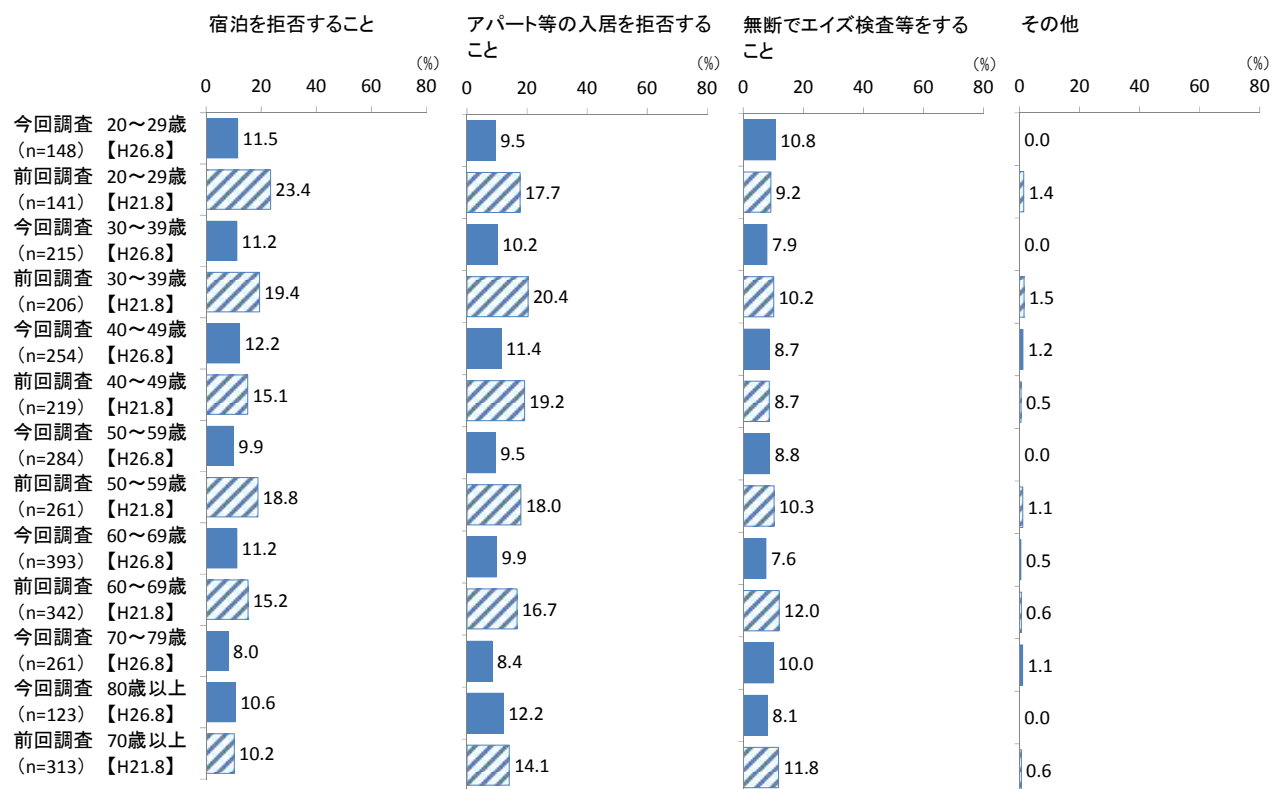
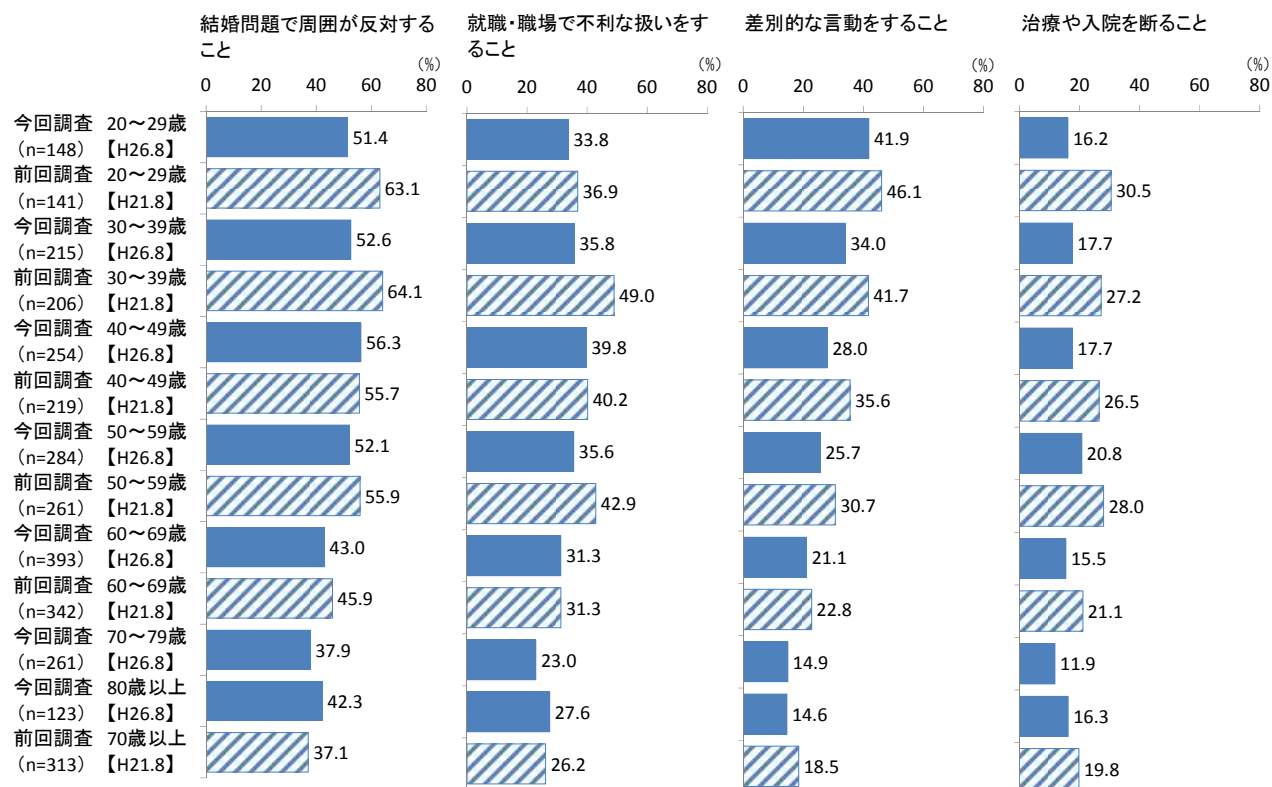
前回調査と比較すると、「特にない」、「わからない」、「無回答」を除くすべての項目について、回答した割合が低くなっている。

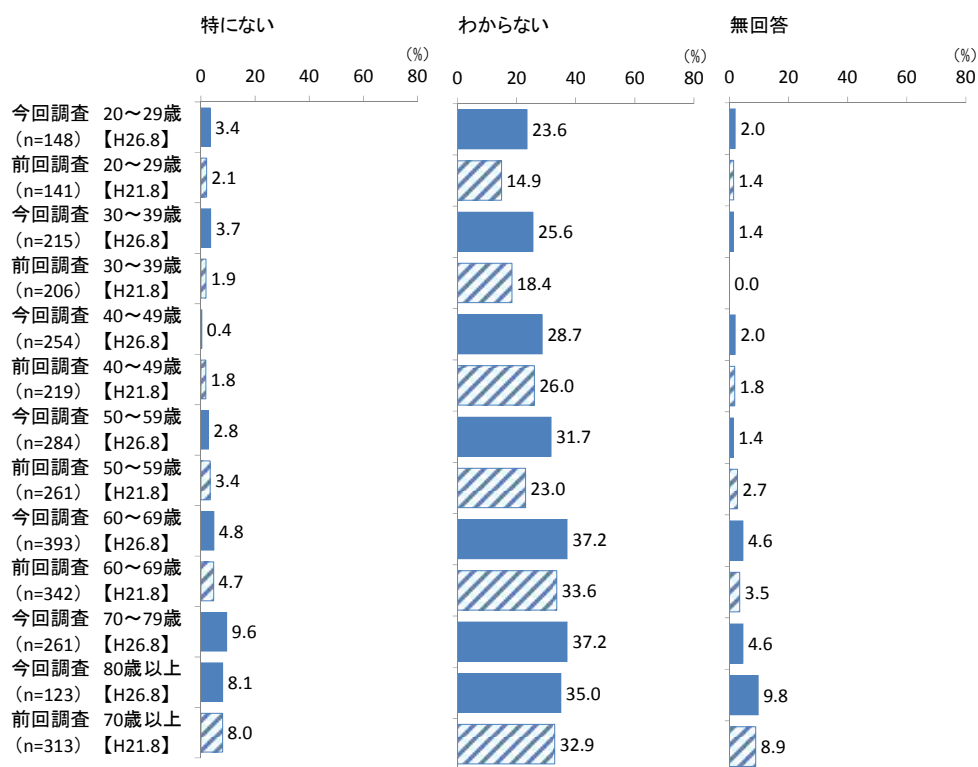
図20-2 HIV感染者等に関し、どのような人権問題が起きているか【性別】



性別で比較すると、大きな差はみられない。

図 20-3 HIV感染者等に関し、どのような人権問題が起きているか【年齢別】

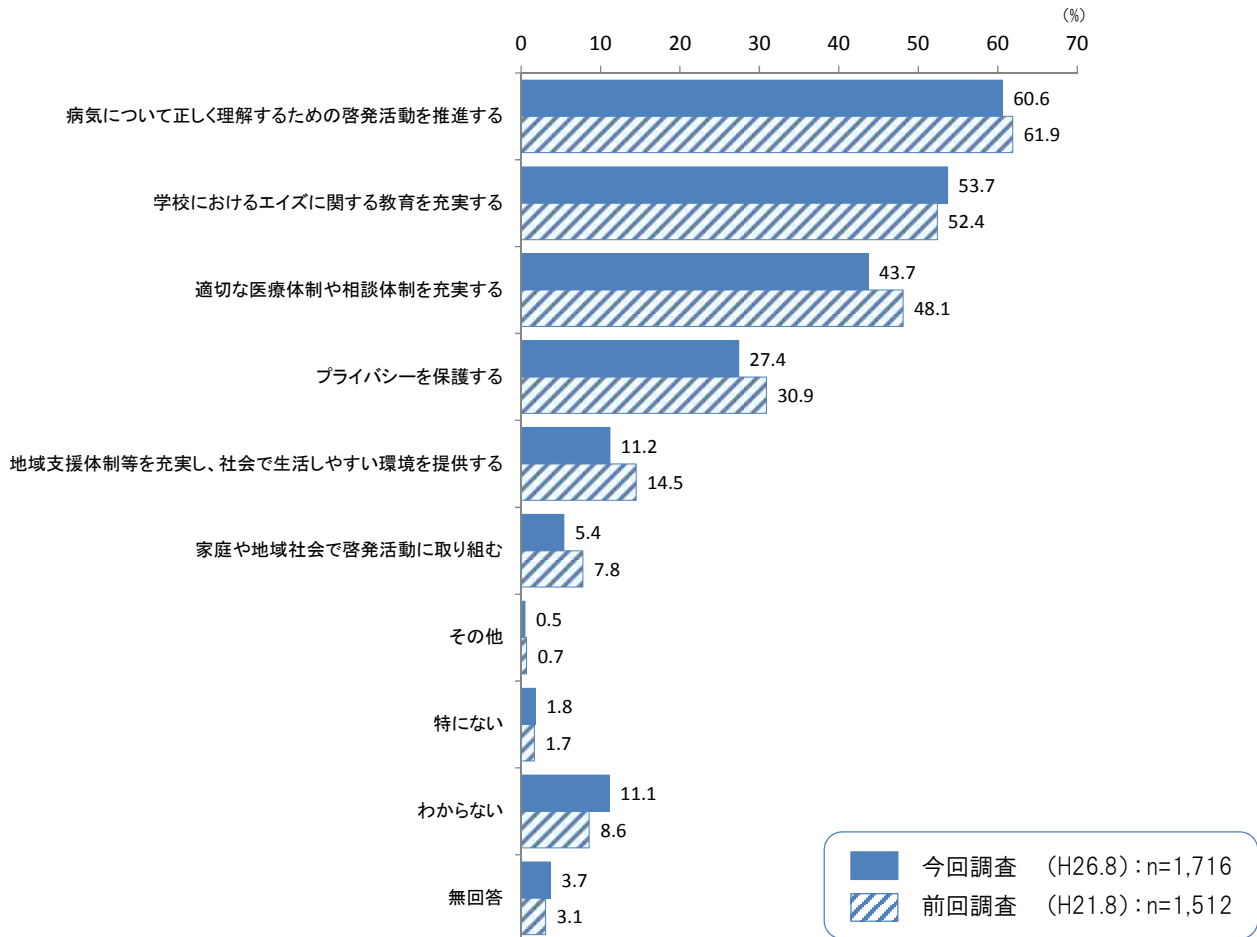




年齢が上がるにつれて「差別的な言動をすること」と回答した割合が低くなっており、逆に、「わからない」と回答した割合が高くなっている。

問21 HIV感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(✓は3つまで)

図21-1 HIV感染者等の人権が守られるために必要なこと【全体】

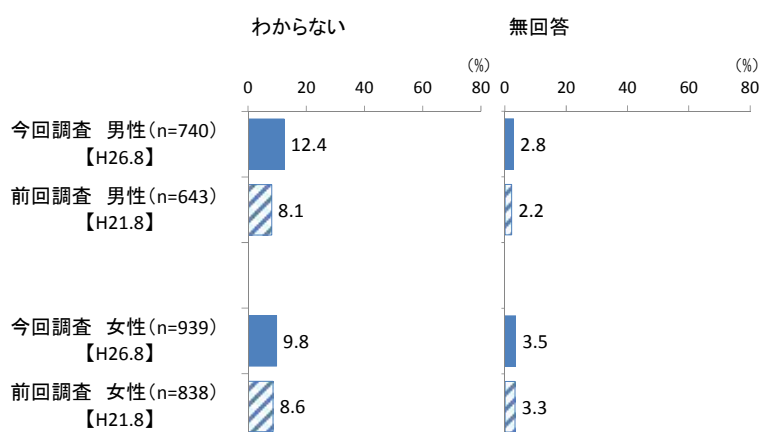
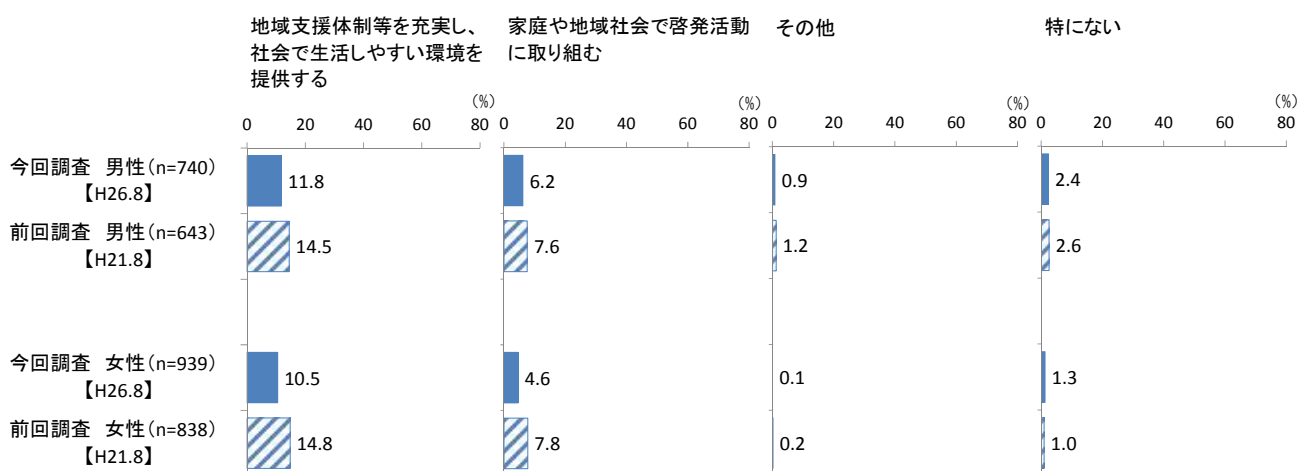
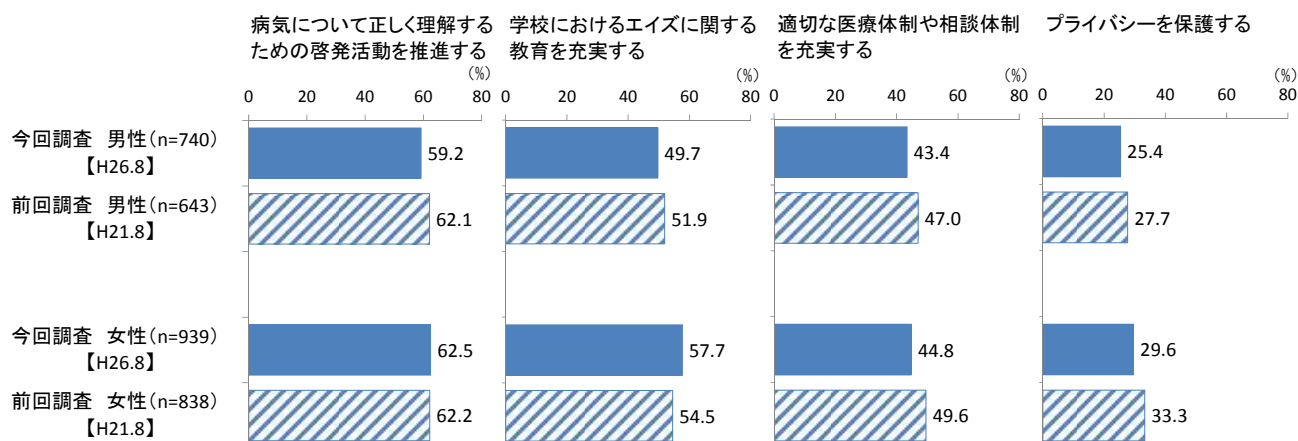


「病気について正しく理解するための啓発活動を推進する」が6割

HIV感染者等の人権が守られるために必要なことについて、「病気について正しく理解するための啓発活動を推進する」と回答した割合が60.6%と最も高く、次いで「学校におけるエイズに関する教育を充実する」(53.7%)、「適切な医療体制や相談体制を充実する」(43.7%)となっている。

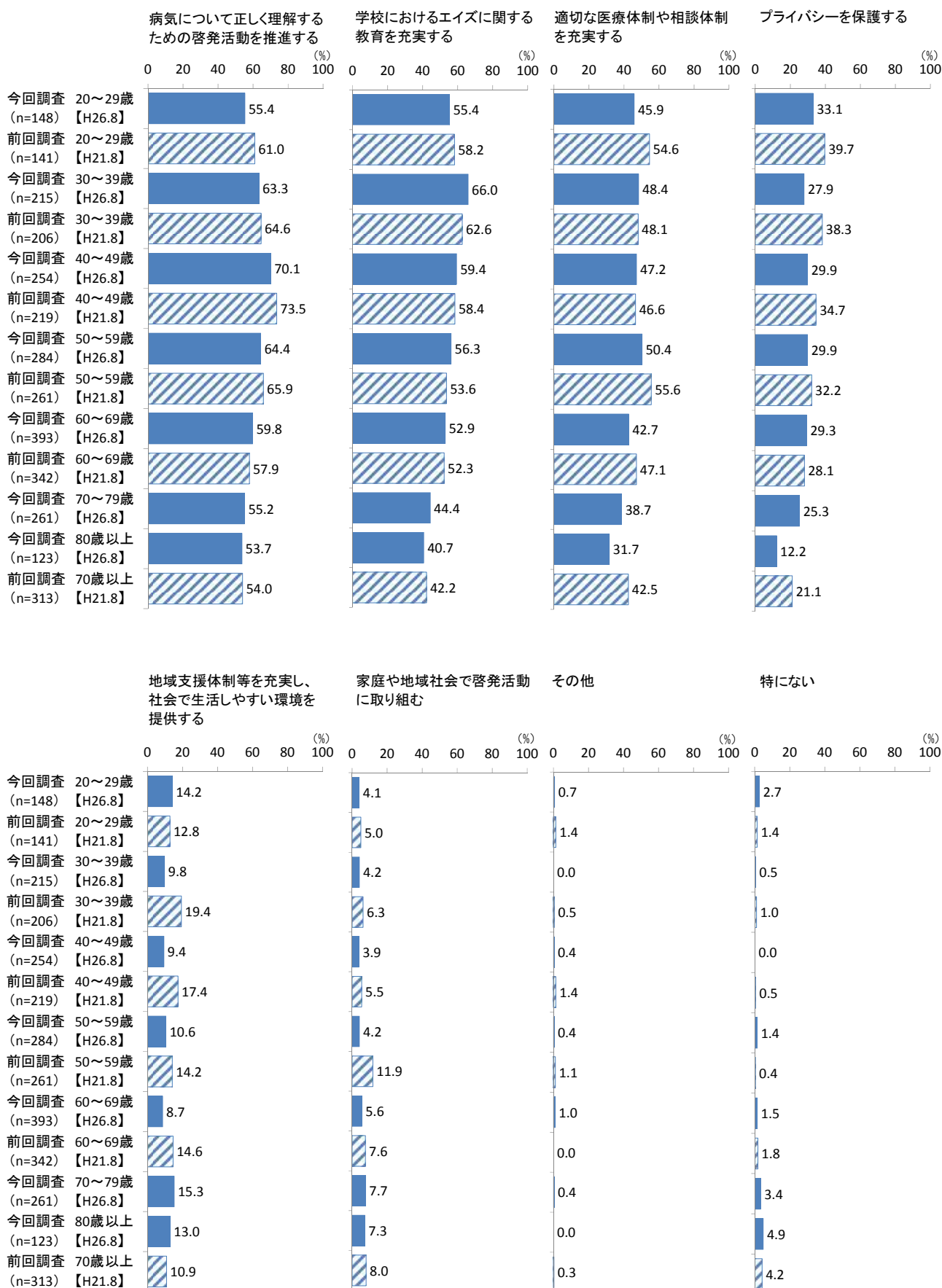
前回調査と比較すると、「学校におけるエイズに関する教育を充実する」、「わからない」と回答した割合が高くなっている。

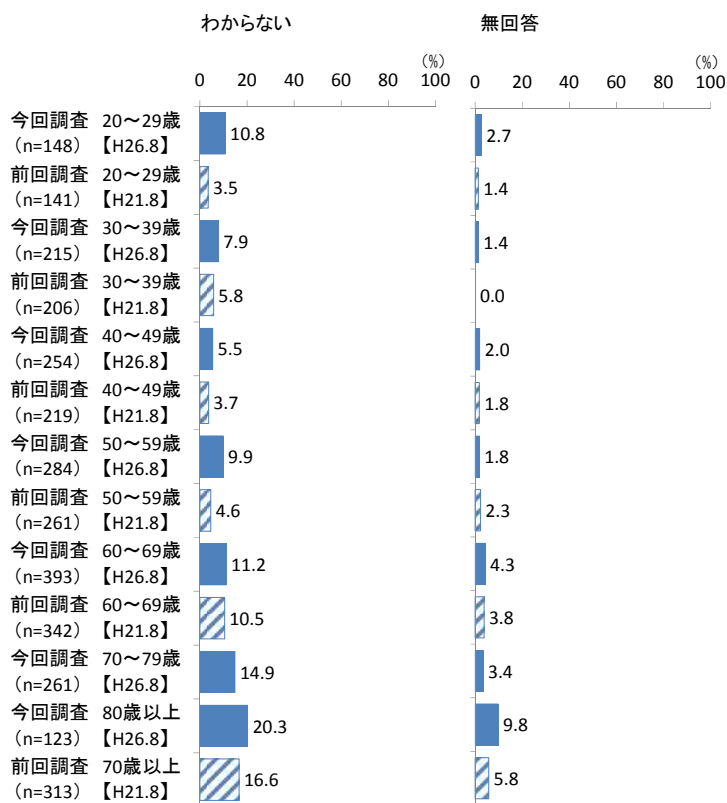
図 2 1 - 2 HIV感染者等の人権が守られるために必要なこと【性別】



前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図 2 1 - 3 HIV感染者等の人権が守られるために必要なこと【年齢別】

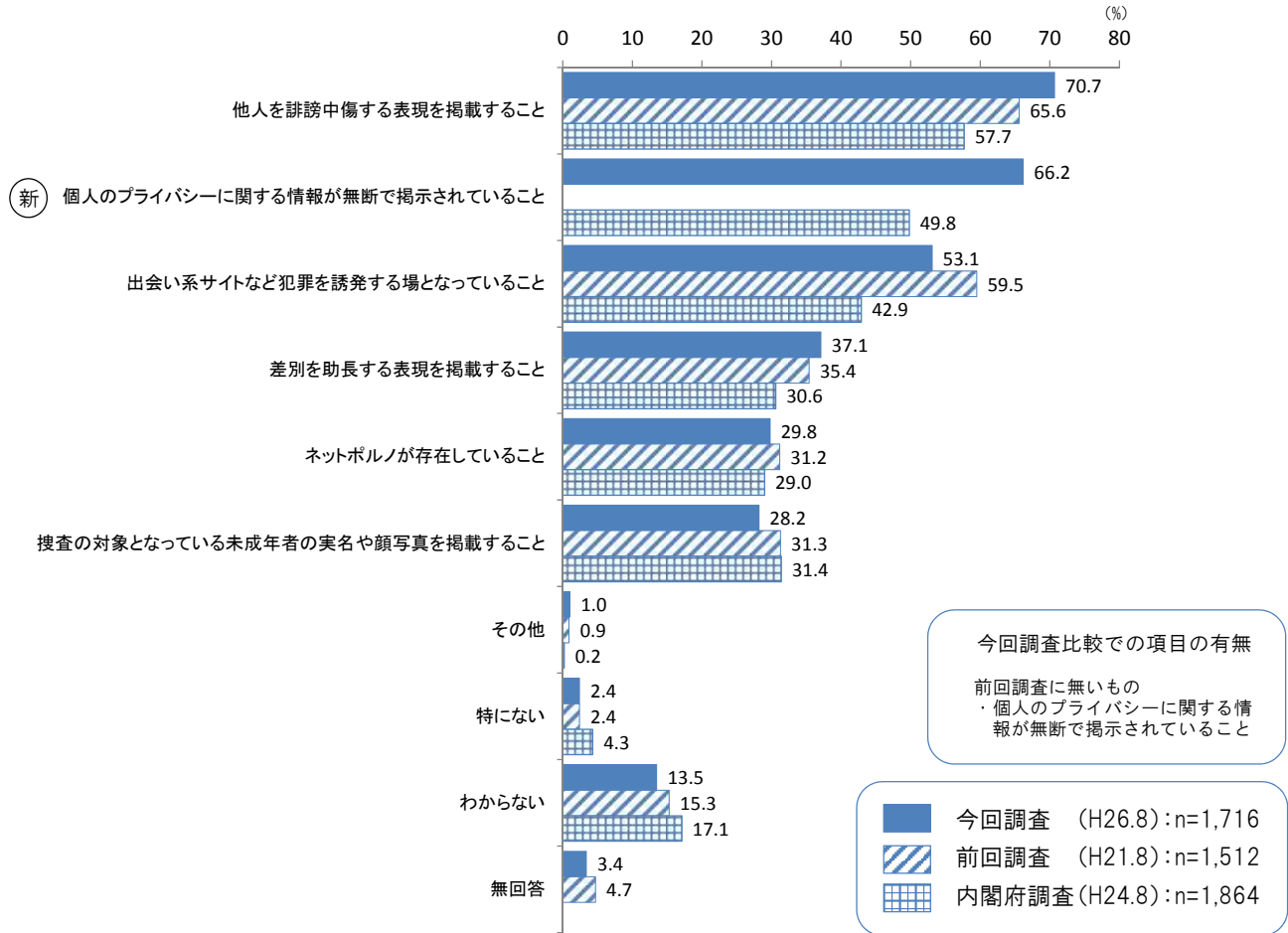




30歳以上で「学校におけるエイズに関する教育を充実する」と回答した割合と、40歳以上で「病気について正しく理解するための啓発活動を推進する」と回答した割合が、年齢が上がるにつれて、ともに低くなっている。

問22 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

図22-1 インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているか【全体】



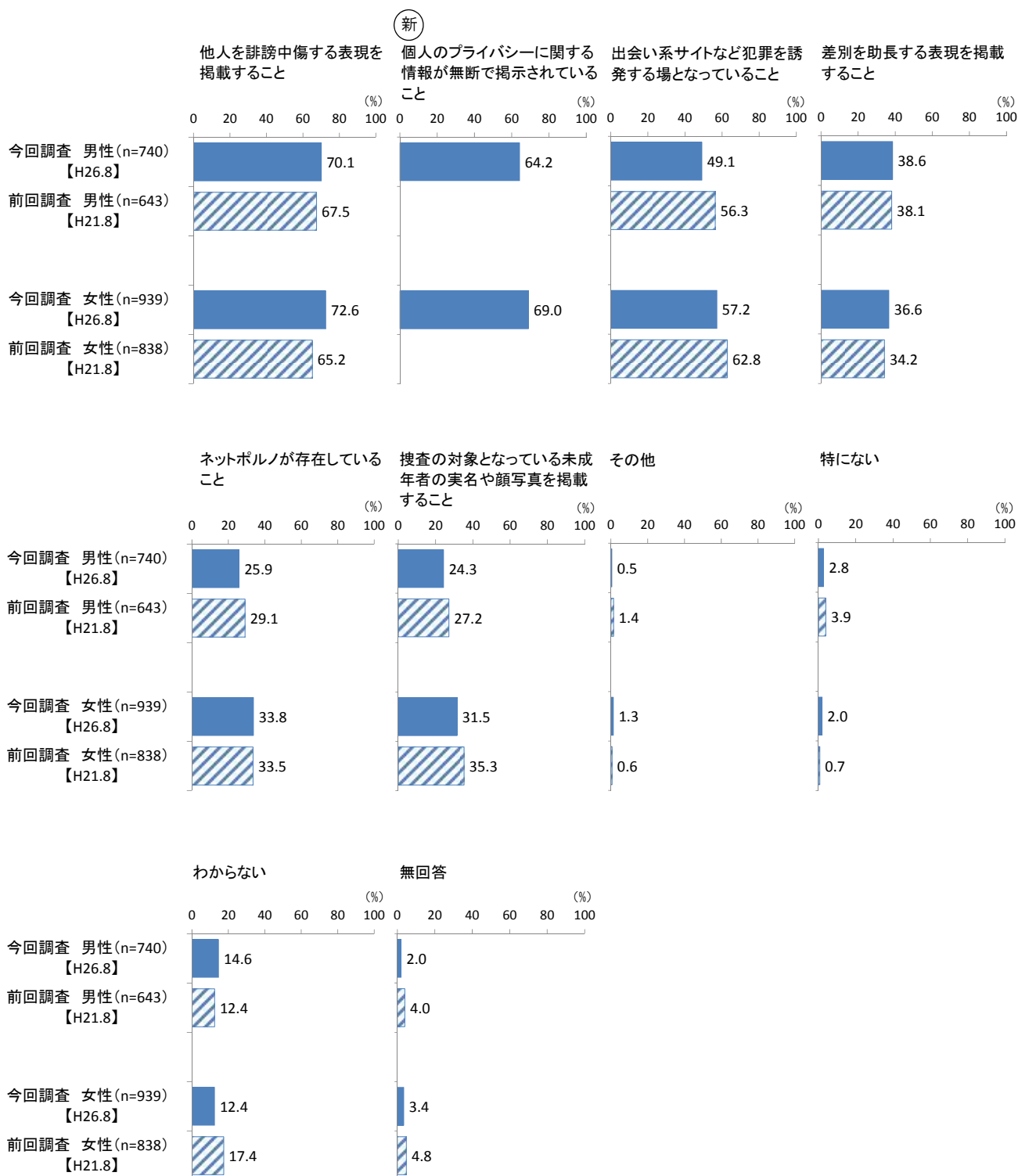
「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」、「個人のプライバシーに関する情報が無断で掲示されていること」が7割

インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているかについて、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」と回答した割合が70.7%と最も高く、次いで「個人のプライバシーに関する情報が無断で掲示されていること」(66.2%)、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(53.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」、「差別を助長する表現を掲載すること」と回答した割合が高くなっている。

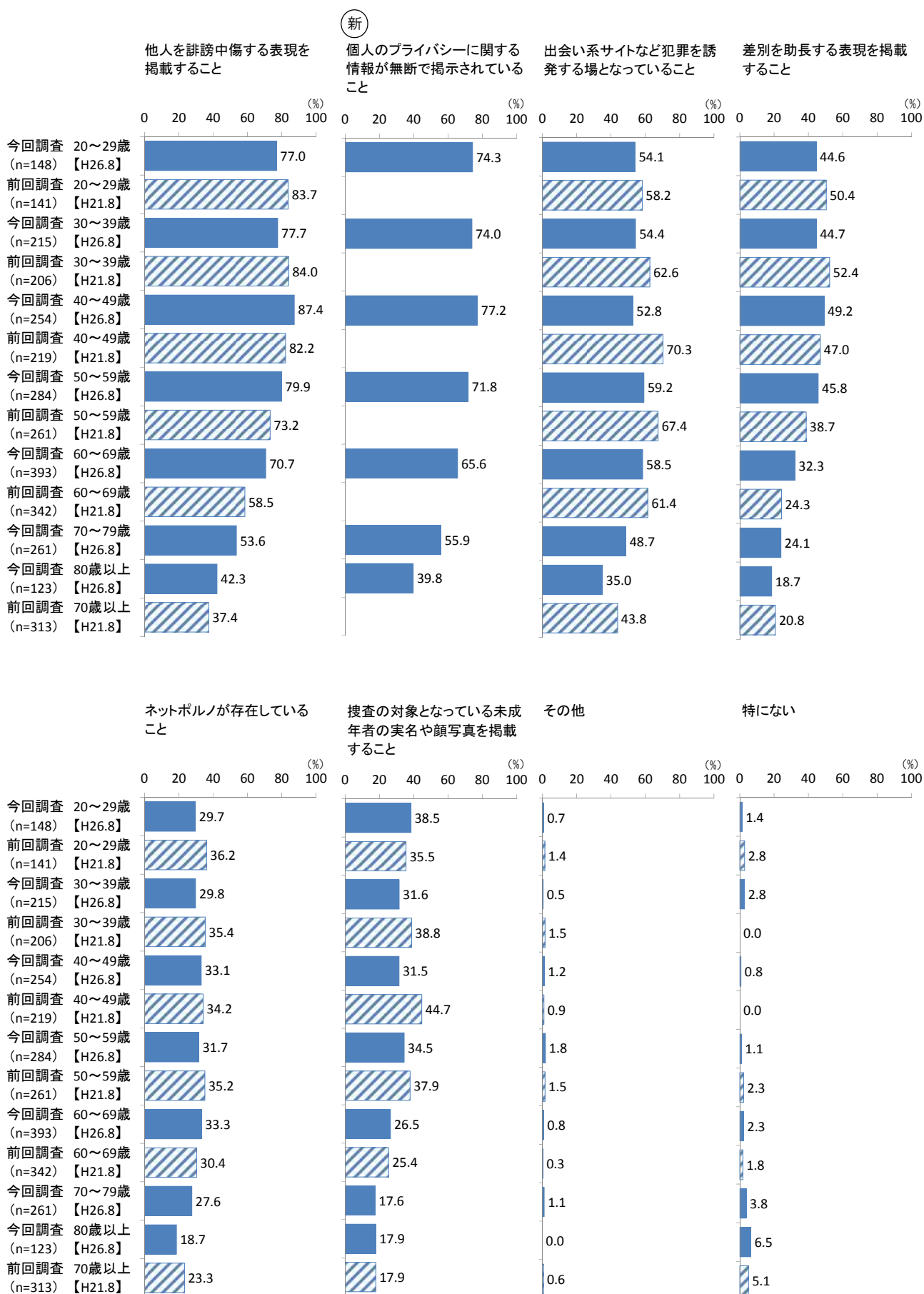
内閣府調査と比較すると、「個人のプライバシーに関する情報が無断で掲示されていること」と回答した割合が66.2%と、16.4ポイント高くなっている。

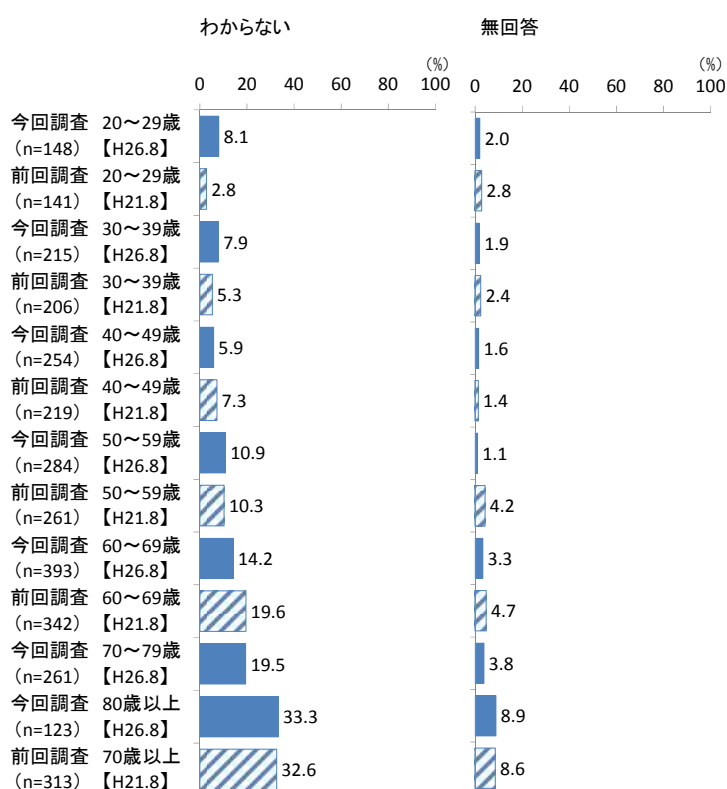
図 2 2 - 2 インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているか【性別】



男性で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」（49.1%）、「ネットポルノが存在していること」（25.9%）と回答した割合が、女性の57.2%、33.8%と比べ、それぞれ低くなっている。

図 2 2 - 3 インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているか【年齢別】





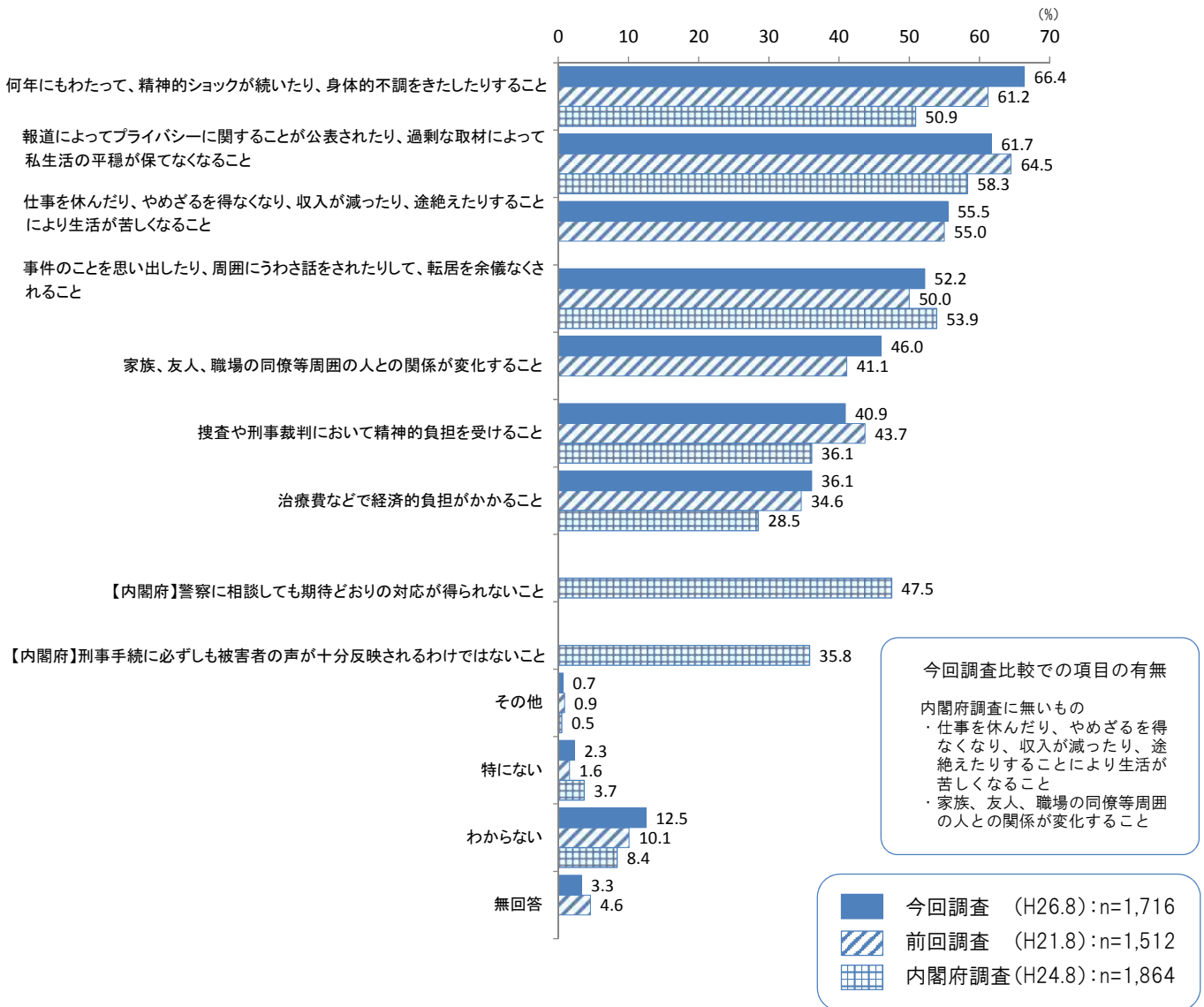
50歳以上で年齢が上がるにつれ、すべての項目について、回答した割合が低くなる傾向がある。

20~59歳で「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」と回答した割合が8割程度と高く、特に40~49歳では、87.4%と9割近くになっている。

前回調査と比較すると、40~49歳で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」と回答した割合が52.8%と、前回調査の70.3%と比べて17.5ポイント低くなっている。

問23 あなたは、犯罪被害者及びその家族や遺族に関し、現在、どのような人権問題(犯罪被害者体験を含む。)が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

図23-1 犯罪被害者等に関し、どのような人権問題が起きているか【全体】



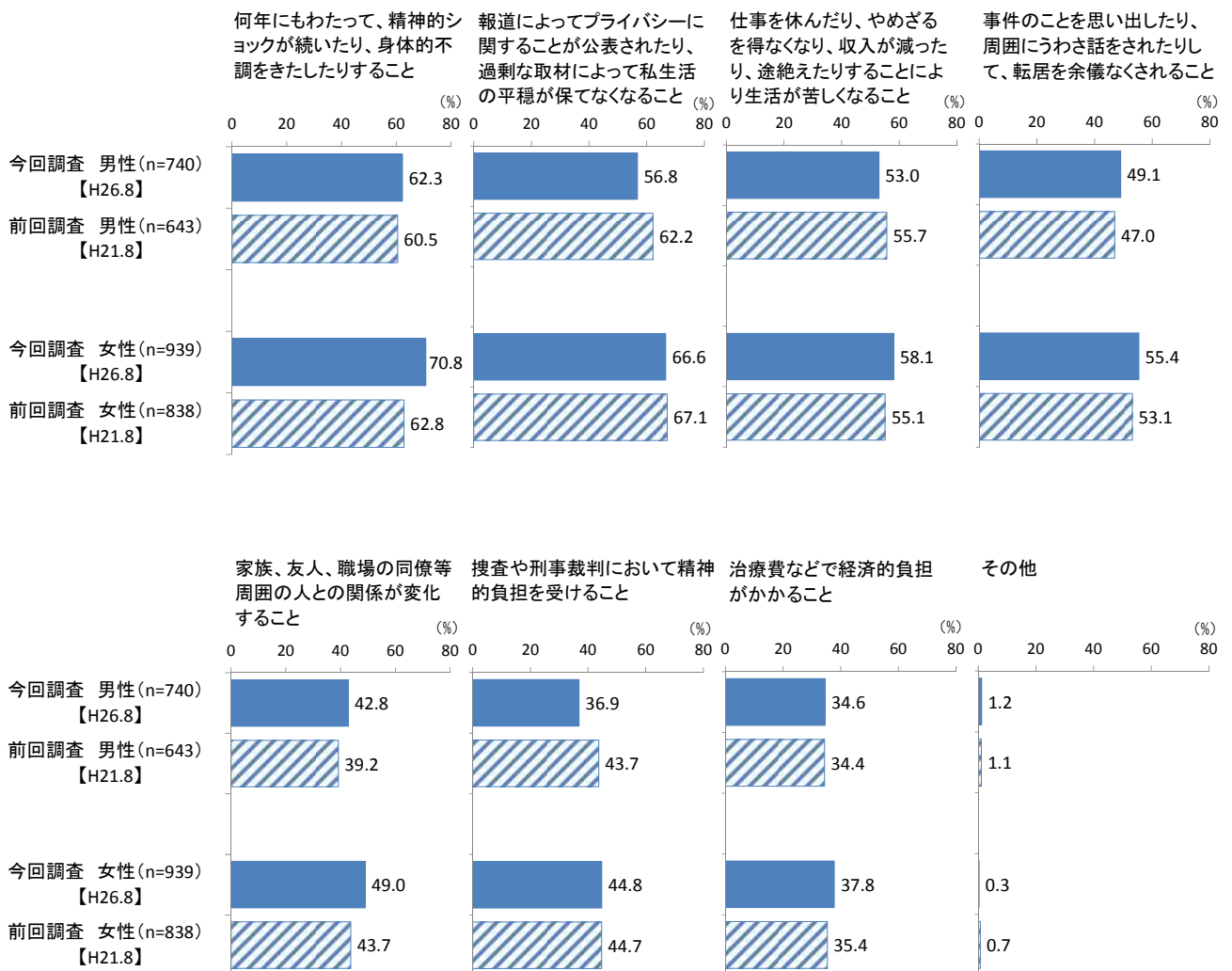
「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」が7割

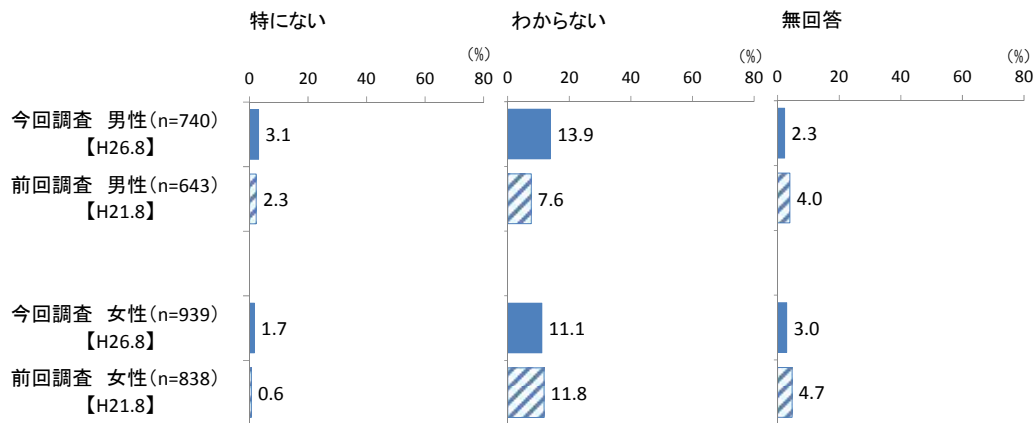
犯罪被害者等に関し、どのような人権問題が起きているかについて、「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」と回答した割合が66.4%と最も高く、次いで「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(61.7%)、「仕事を休んだり、やめざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすることにより生活が苦しくなること」(55.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」、「家族、友人、職場の同僚等周囲の人との関係が変化すること」等と回答した割合が高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」と回答した割合が15.5ポイント高くなっている。

図23-2 犯罪被害者等に関し、どのような人権問題が起きているか【性別】

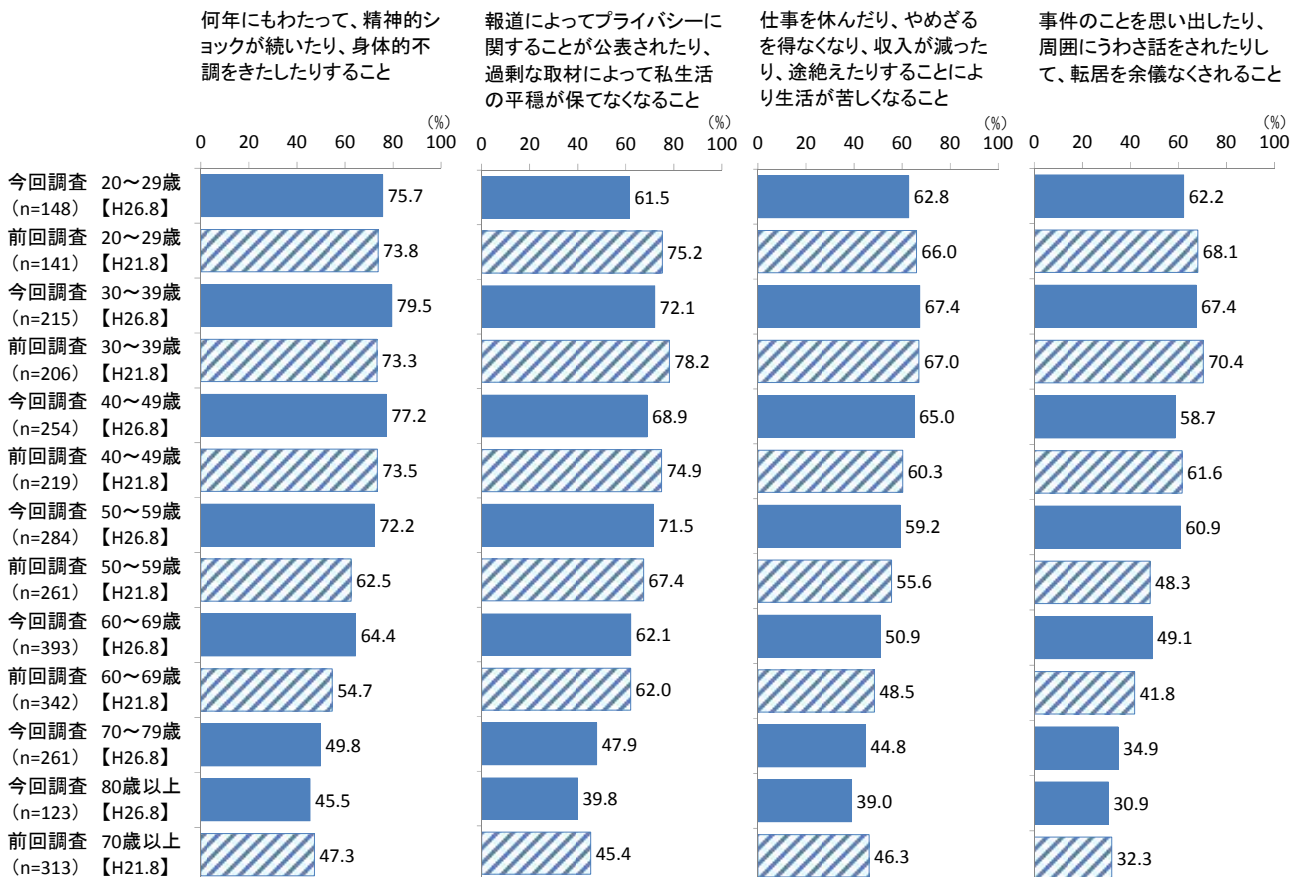


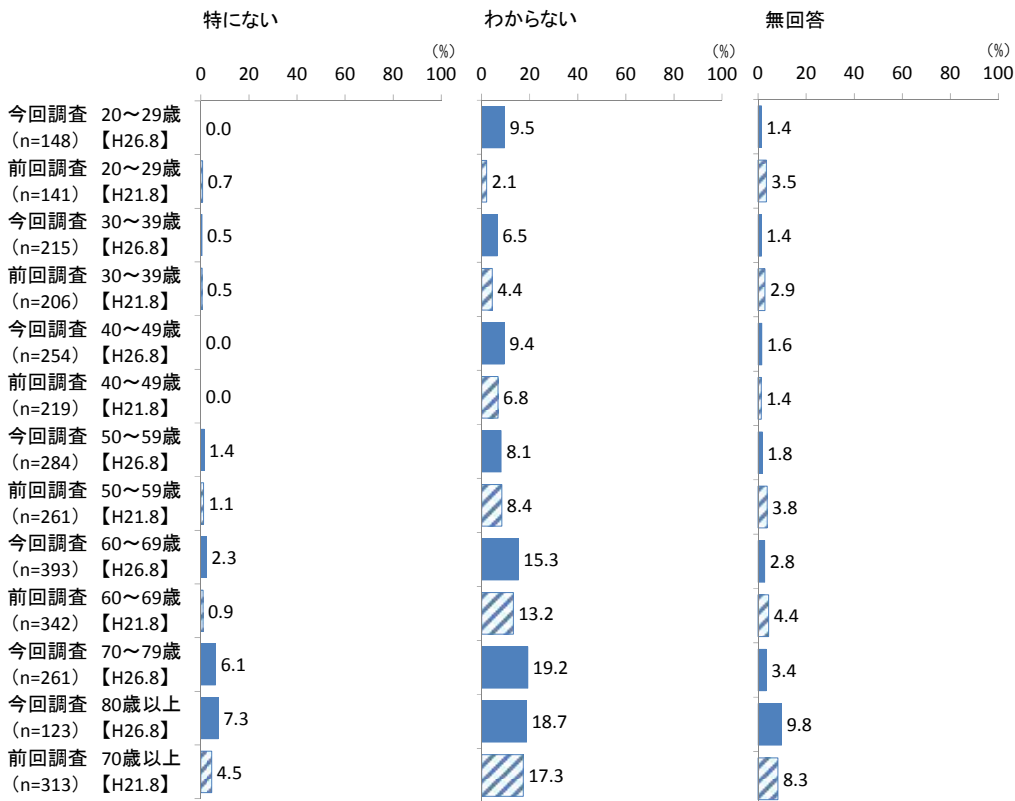
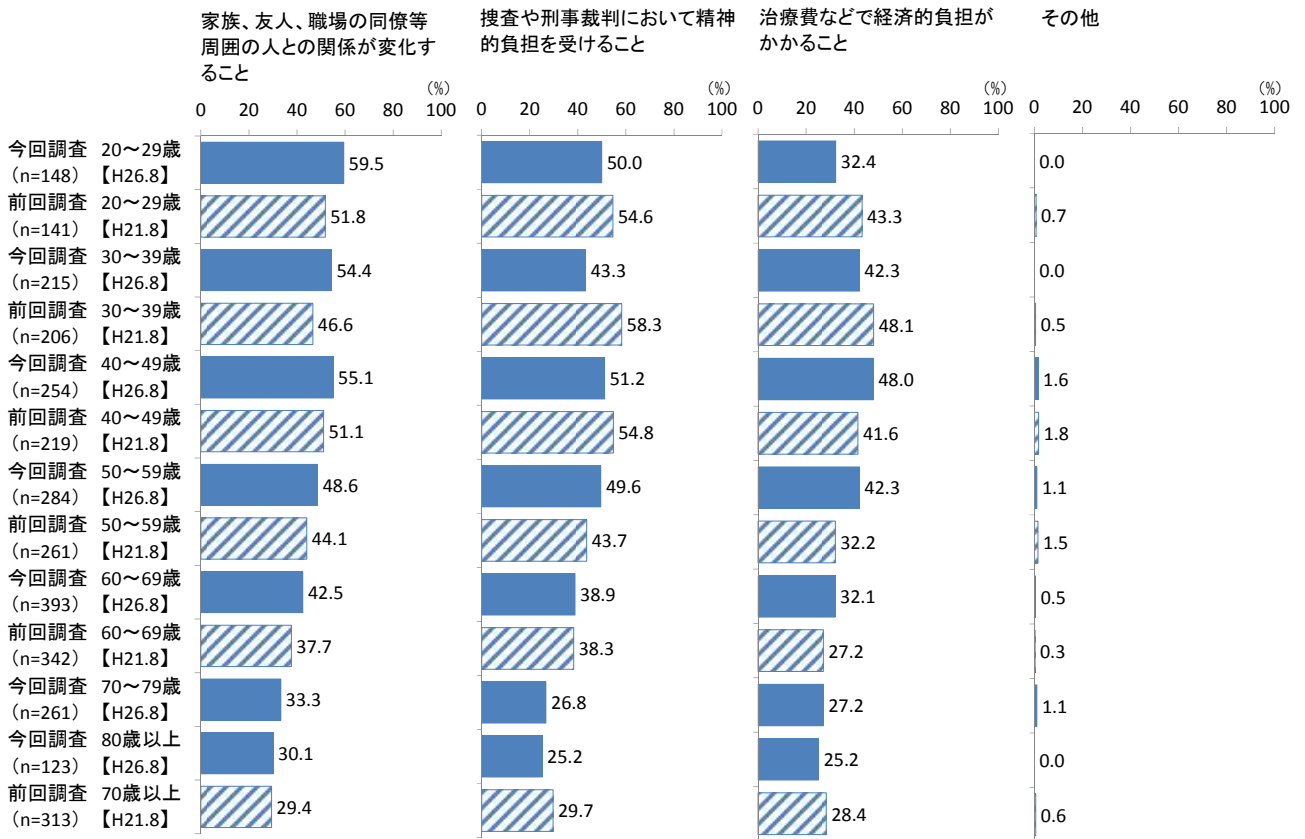


すべての項目について、女性の方が男性より回答した割合が高くなっており、特に「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穏が保てなくなる」と回答した割合が66.6%と、男性の56.8%と比べて9.8ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、女性で「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」と回答した割合が70.8%と、前回調査の62.8%と比べて8.0ポイント高くなっている。

図 2 3 - 3 犯罪被害者等に関し、どのような人権問題が起きているか【年齢別】



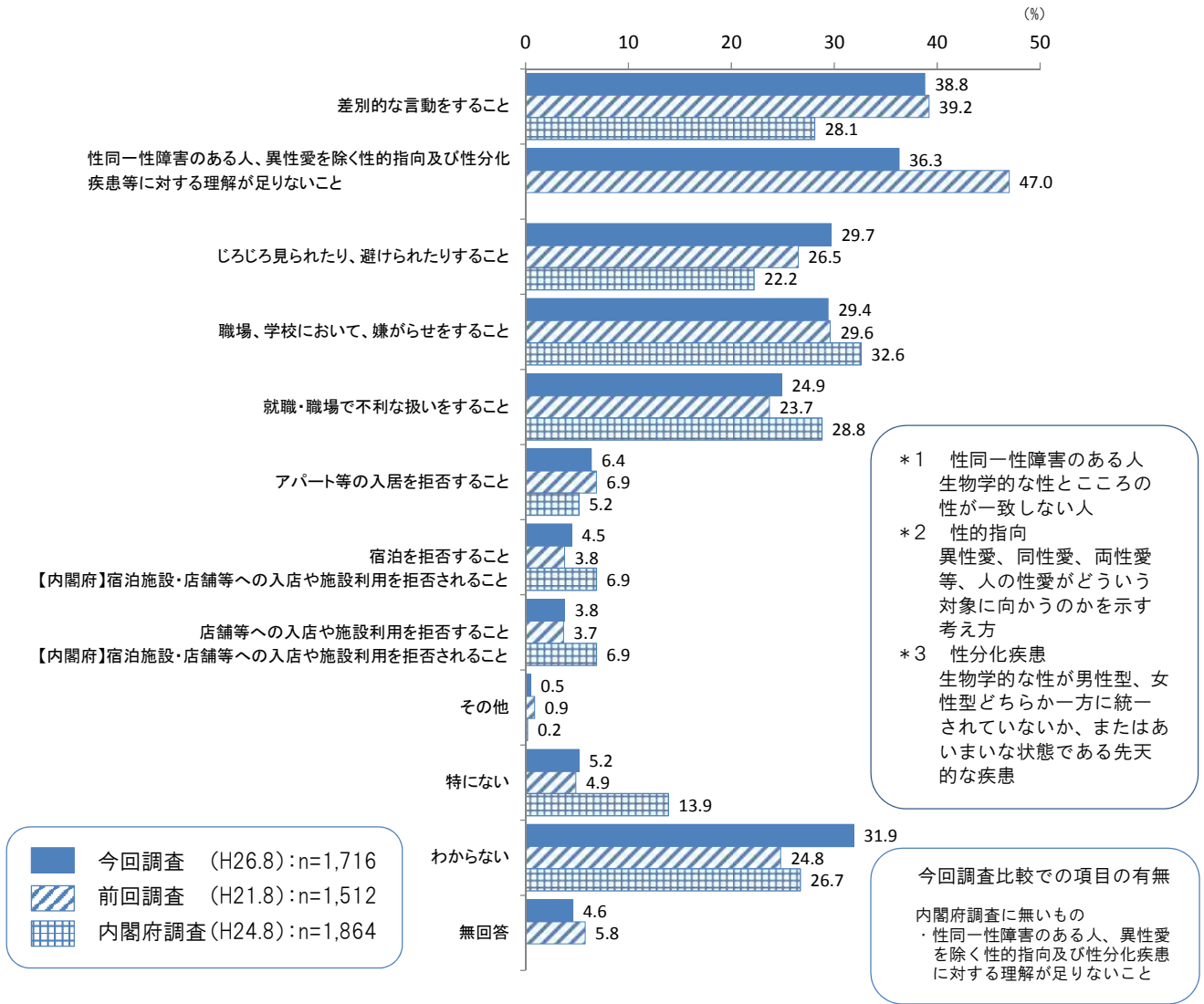


年齢が上がるにつれて「家族、友人、職場の同僚等周囲の人との関係が変化すること」と回答した割合が低くなる傾向がある。なお、50歳以上ですべての項目について、回答した割合が低くなる傾向がある。また、30～39歳で各回答への回答割合が全体的に高くなっており、特に「何年にもわたって、精神的ショックが続いたり、身体的不調をきたしたりすること」と回答した割合が79.5%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、30～39歳で「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」と回答した割合が43.3%と、前回調査の58.3%と比べて15.0ポイント低くなっている。

問24 あなたは、性同一性障害のある人(※1)、異性愛を除く性的指向(※2)及び性分化疾患(※3)等について、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

図24-1 性同一性障害、性的指向及び性分化疾患等に関し、どのような人権問題が起きているか【全体】



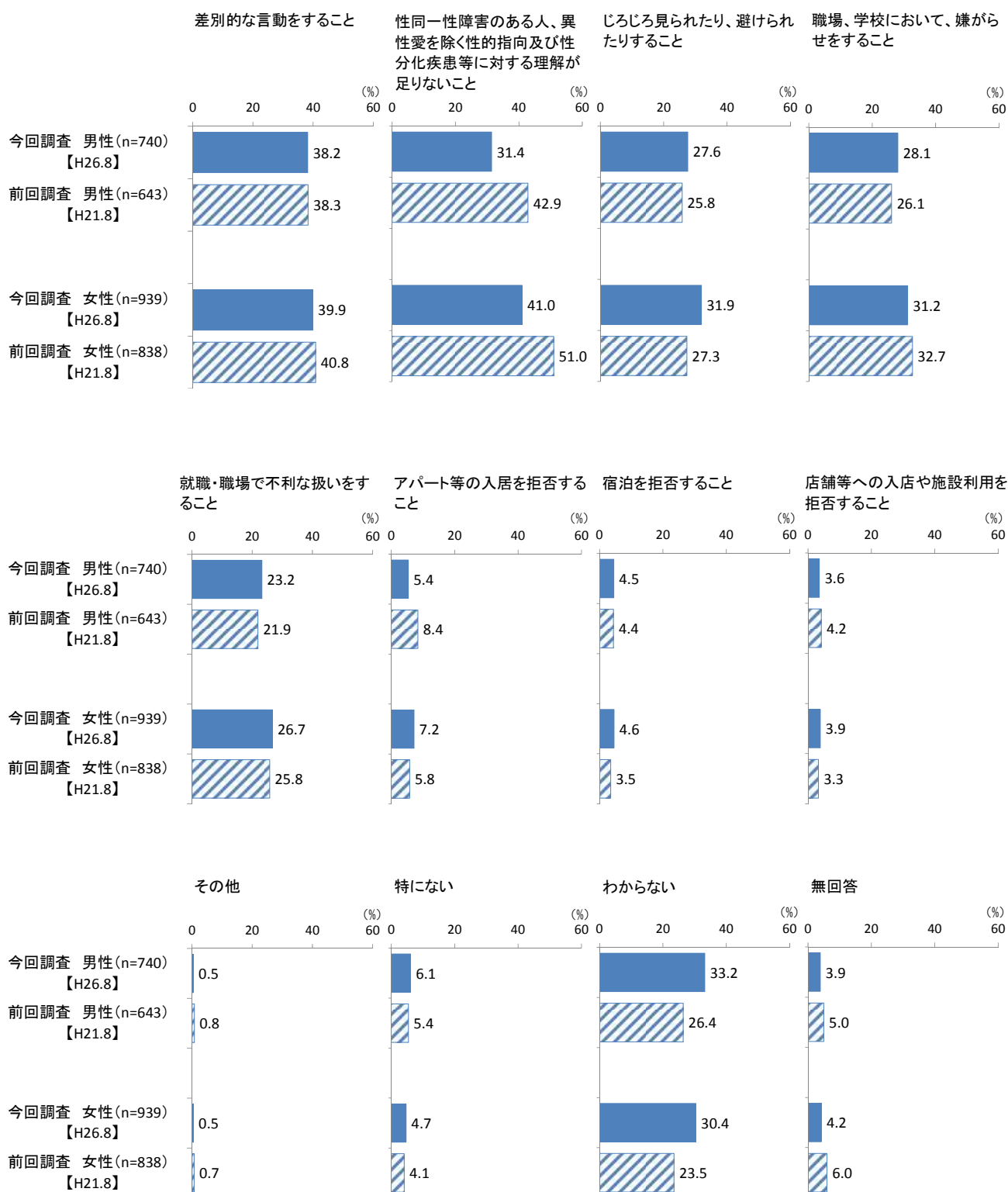
「差別的な言動をすること」、「性同一性障害のある人、異性愛を除く性的指向及び性分化疾患等に対する理解が足りないこと」が4割

性同一性障害、性的指向及び性分化疾患等に関し、どのような人権問題が起きているかについて、「差別的な言動をすること」と回答した割合が38.8%と最も高く、次いで「性同一性障害のある人、異性愛を除く性的指向及び性分化疾患等に対する理解が足りないこと」(36.3%)、「わからない」(31.9%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(29.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、「就職・職場で不利な扱いをすること」等のほか、「わからない」と回答した割合が高くなっている。

内閣府調査と比較すると、「差別的な言動をすること」と回答した割合が38.8%と、10.7ポイント高くなっている。

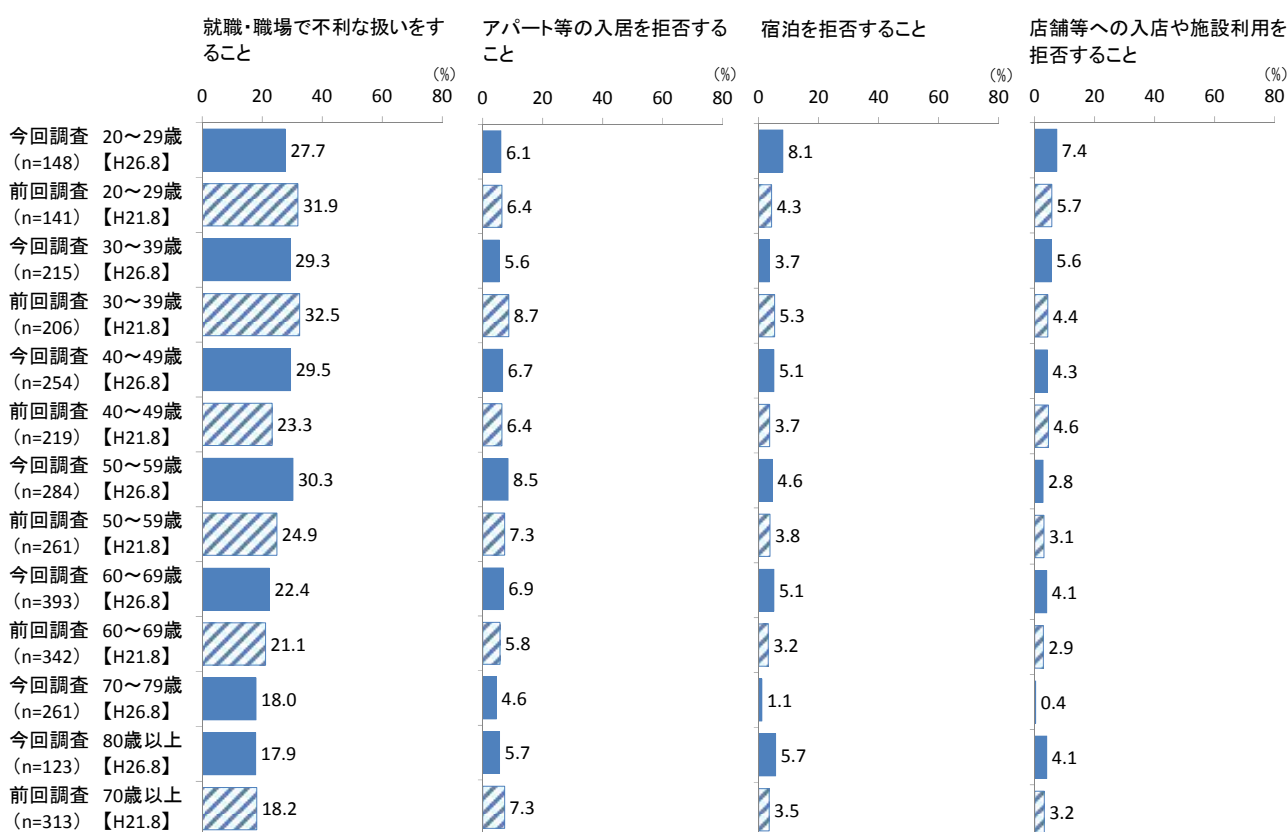
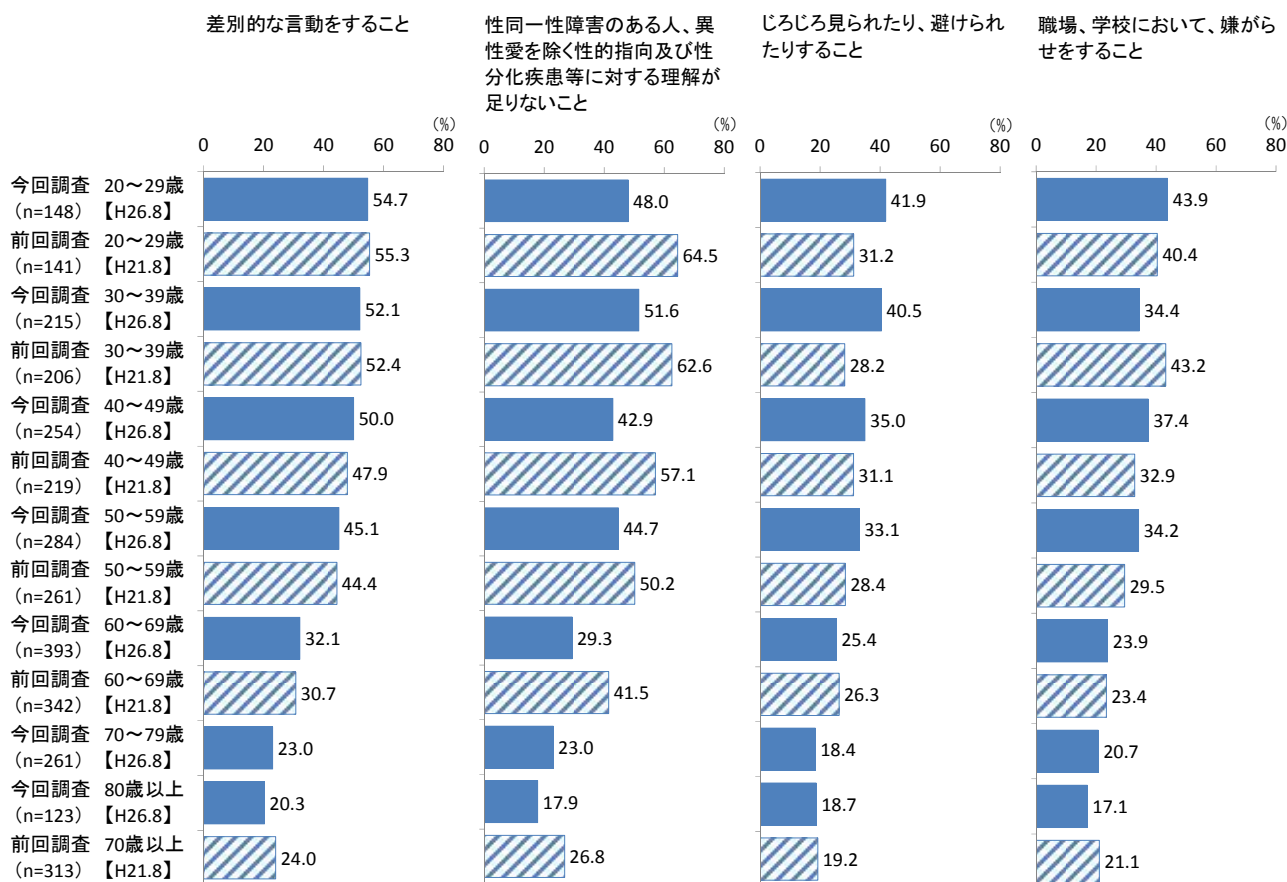
図 2 4 - 2 性同一性障害、性的指向及び性分化疾患等に関し、どのような人権問題が起きているか【性別】

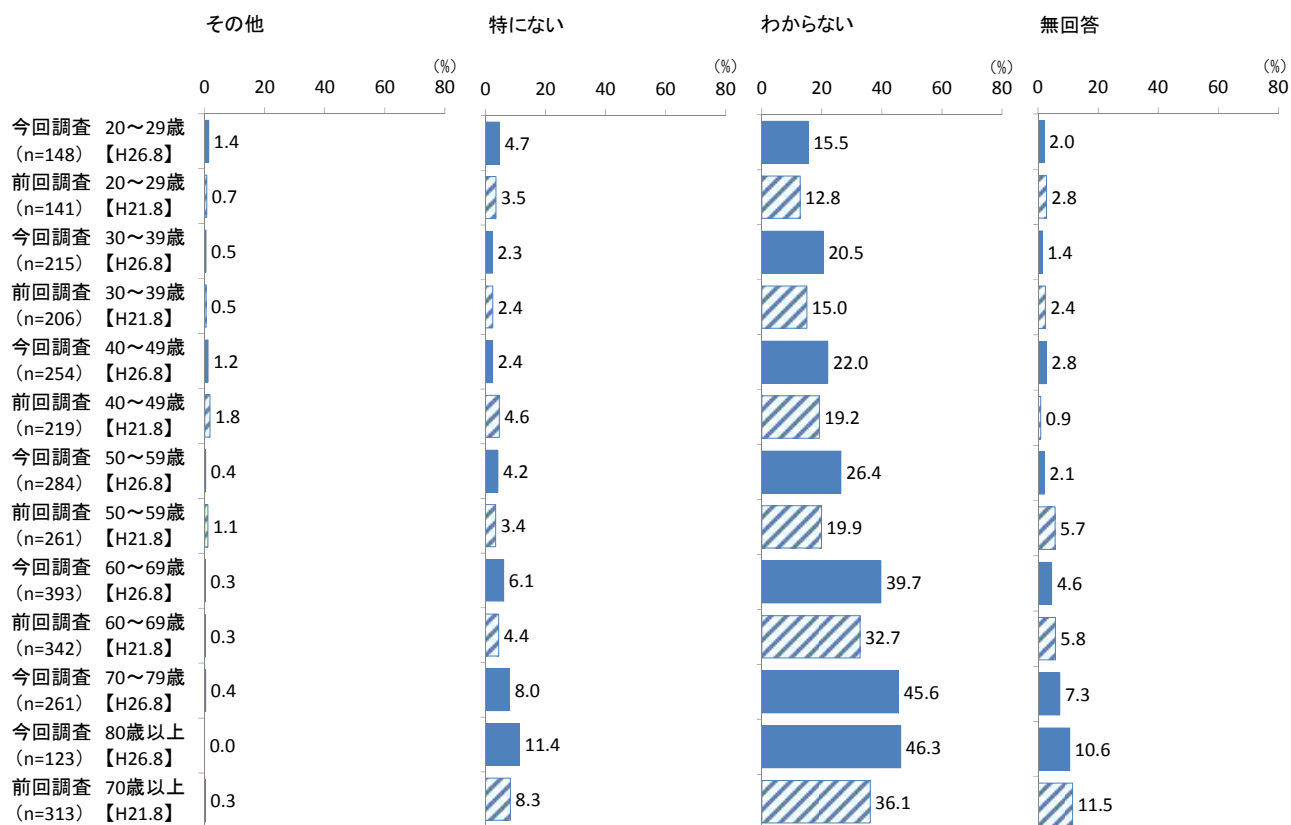


男性で「わからない」と回答した割合が高く、その他の項目は女性の回答が高くなっている。特に、男性で「性同一性障害のある人、異性愛を除く性的指向及び性分化疾患等に対する理解が足りないこと」と回答した割合が31.4%と、女性の41.0%と比べて9.6ポイント低くなっている。

前回調査と比較すると、男性、女性ともに「性同一性障害のある人、異性愛を除く性的指向及び性分化疾患等に対する理解が足りないこと」と回答した割合が10ポイント以上低くなっている。

図 2 4 - 3 性同一性障害、性的指向及び性分化疾患等に関し、どのような人権問題が起きているか
【年齢別】



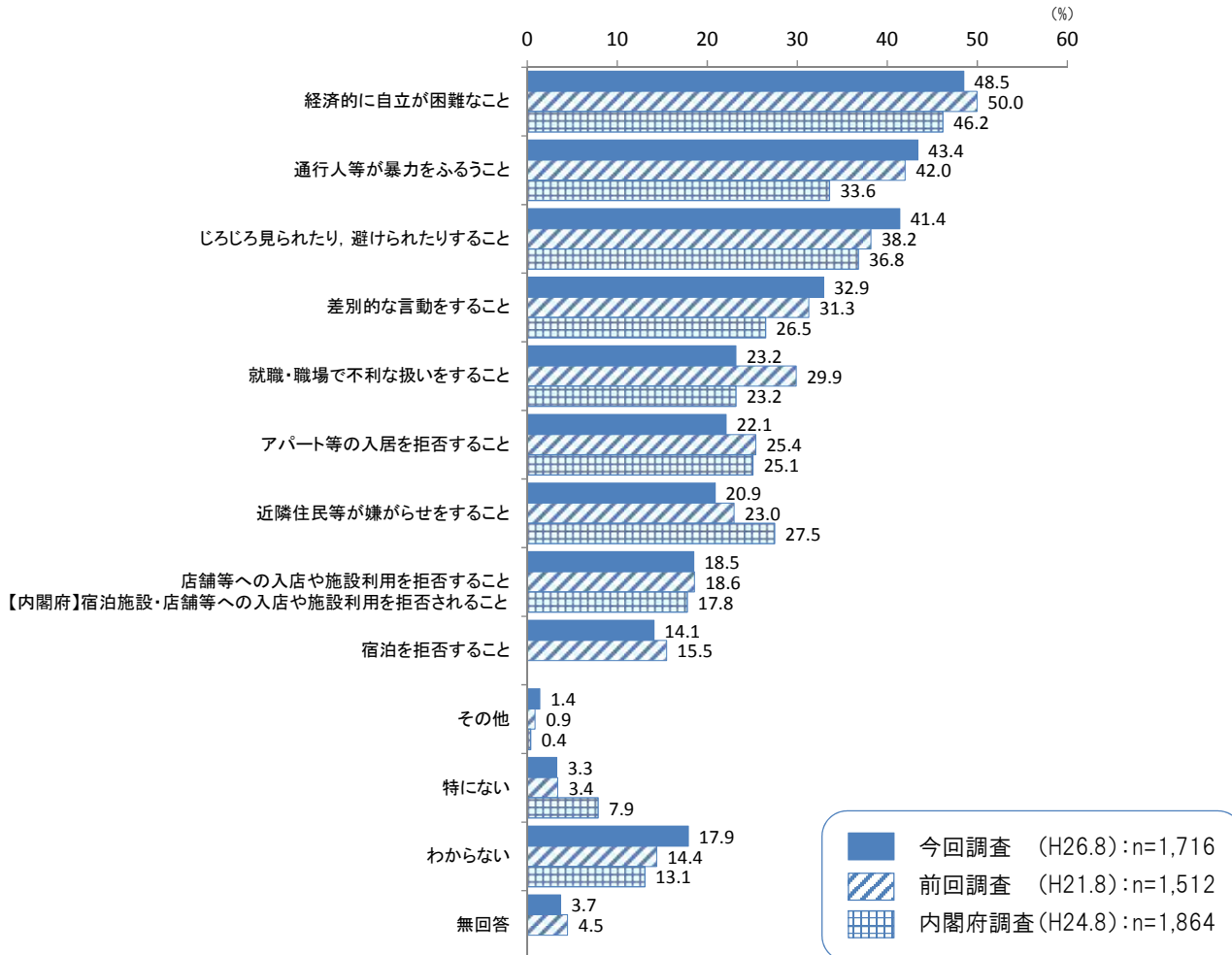


「特にない」、「わからない」を除くすべての項目で、年齢が上がるにつれて回答した割合が低くなる傾向がみられる。逆に、年齢が上がるにつれて「わからない」と回答した割合が高くなっており、特に、60歳以上では約4割となっている。

前回調査と比較すると、「性同一性障害のある人、異性愛を除く性的指向及び性分化疾患等に対する理解が足りないこと」と回答した割合が、すべての年齢層で低くなっており、特に、20～29歳では16.5ポイント低くなっている。

問25 あなたは、ホームレス(路上生活者)に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

図25-1 ホームレスに関し、どのような人権問題が起きているか【全体】



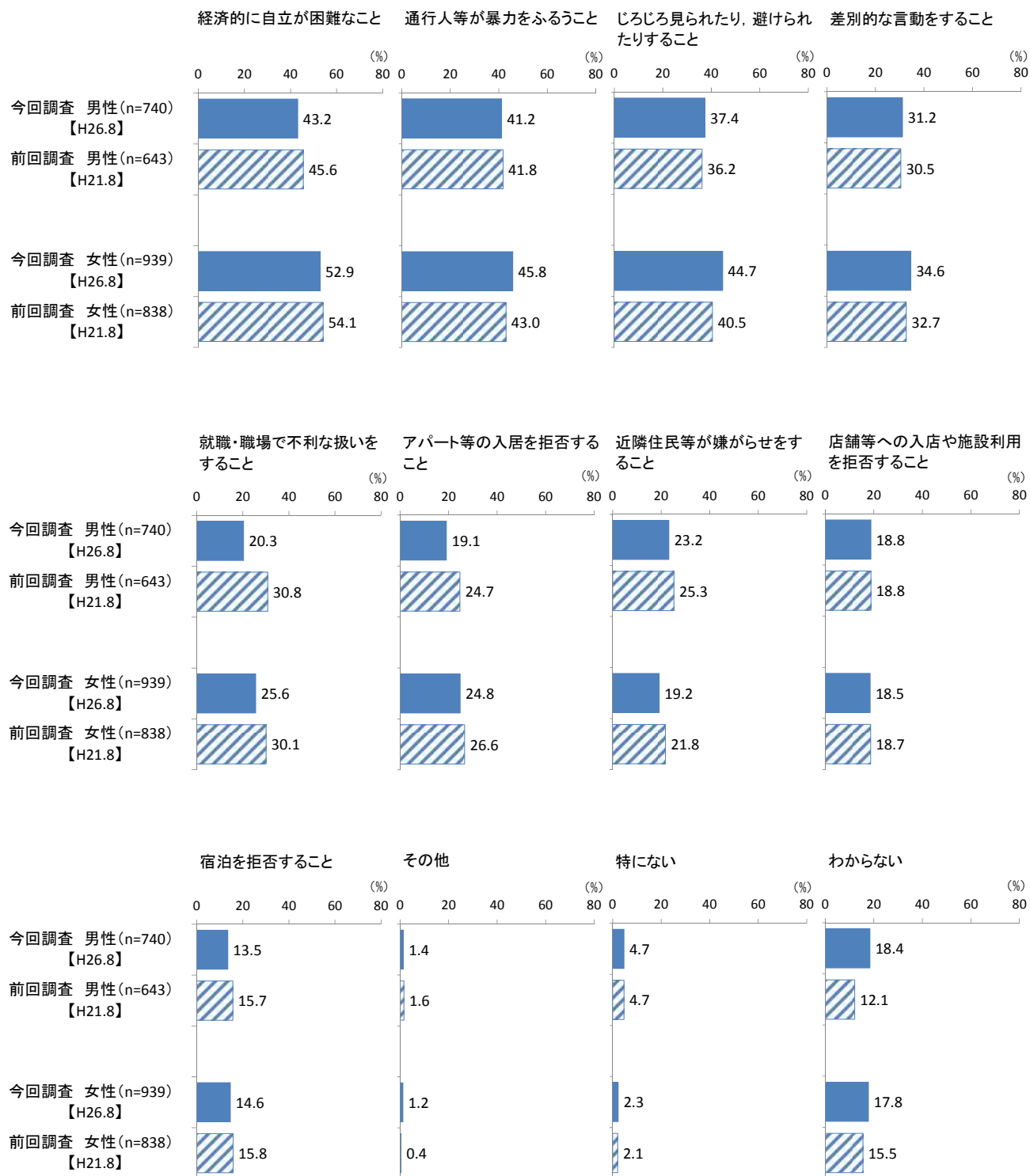
「経済的に自立が困難なこと」が5割

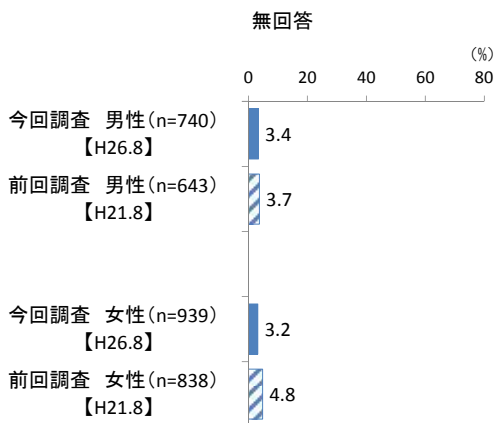
ホームレス(路上生活者)に関し、どのような人権問題が起きているかについて、「経済的に自立が困難なこと」と回答した割合が48.5%と最も高く、次いで「通行人等が暴力をふるうこと」(43.4%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(41.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」等のほか「わからない」と回答した割合が高くなっており、「就職・職場で不利な扱いをすること」、「アパート等の入居を拒否すること」等と回答した割合が低くなっている。

内閣府調査と比較すると、「通行人等が暴力をふるうこと」と回答した割合が43.4%と、9.8ポイント高くなっている。

図 25-2 ホームレスに関し、どのような人権問題が起きているか【性別】

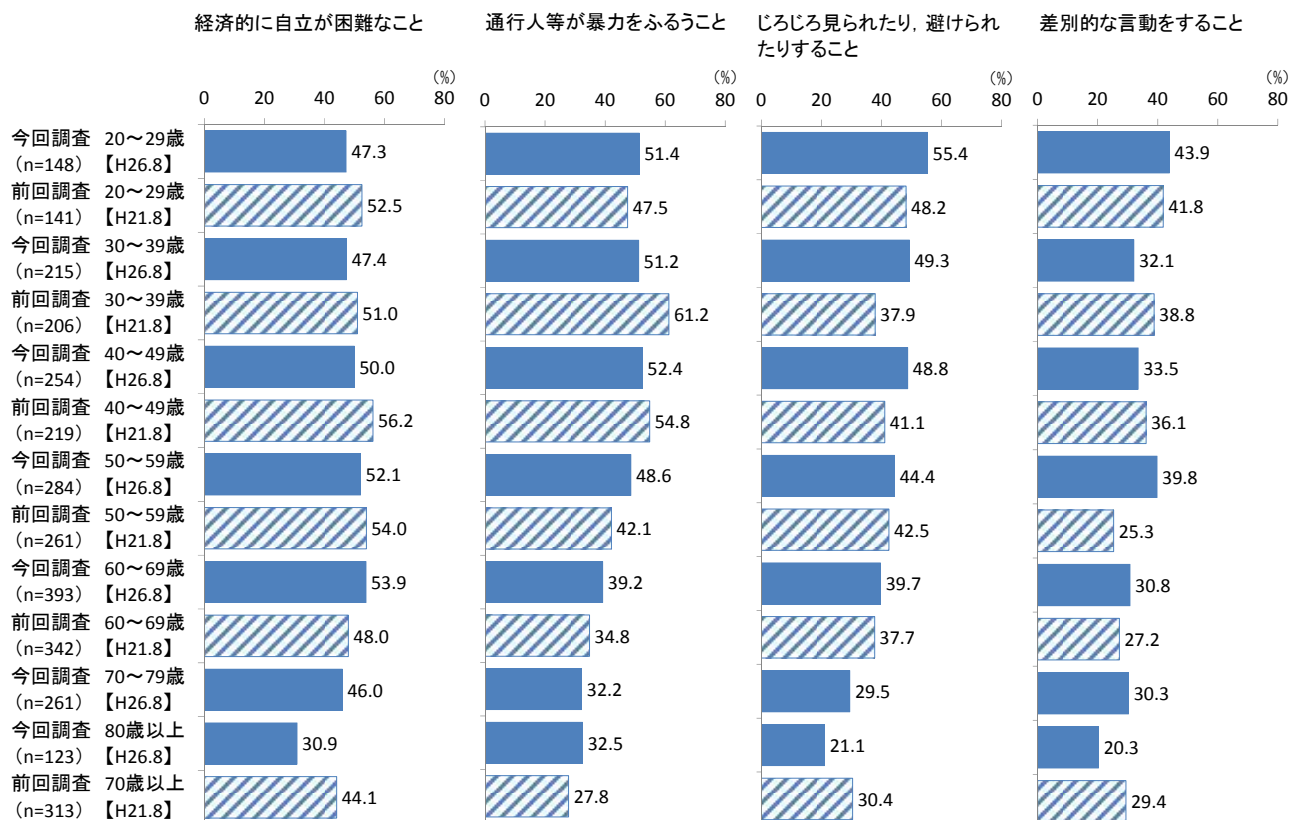


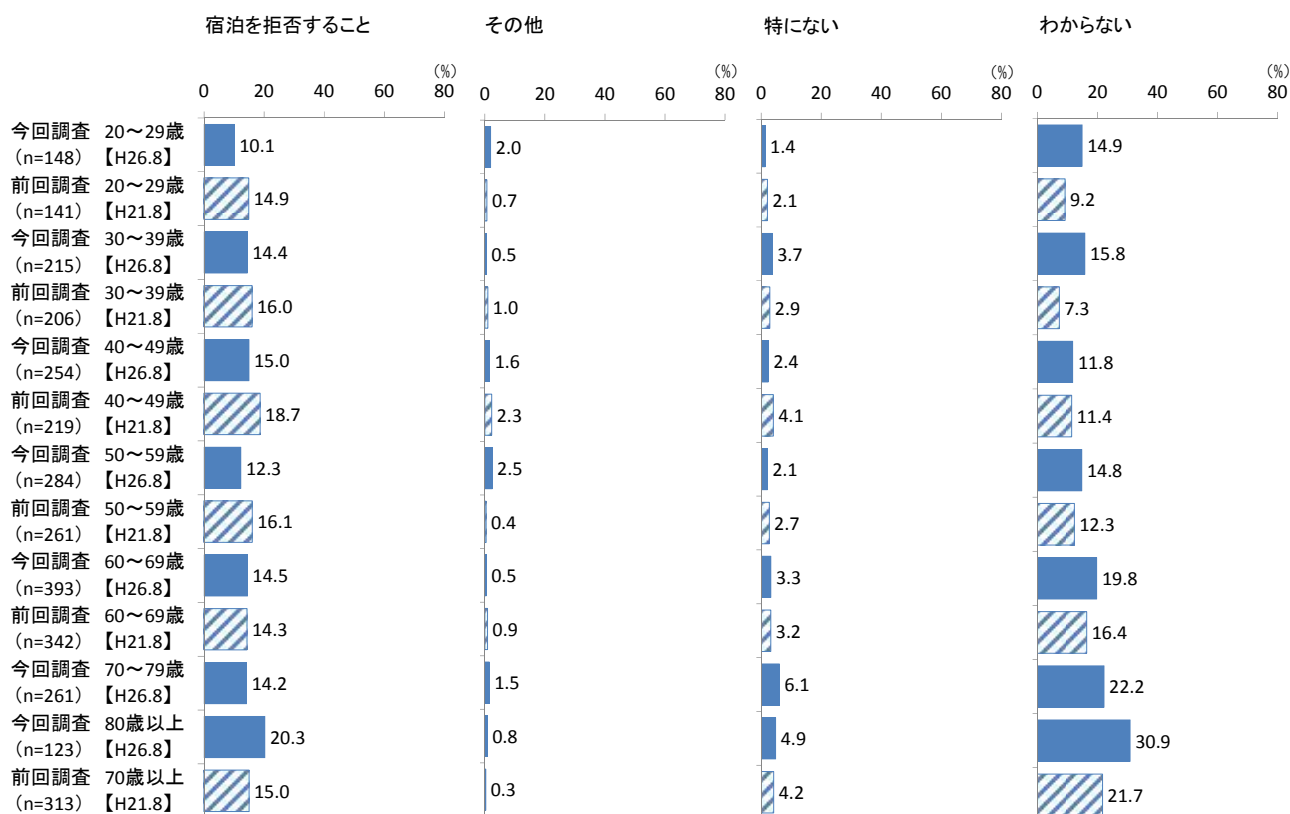
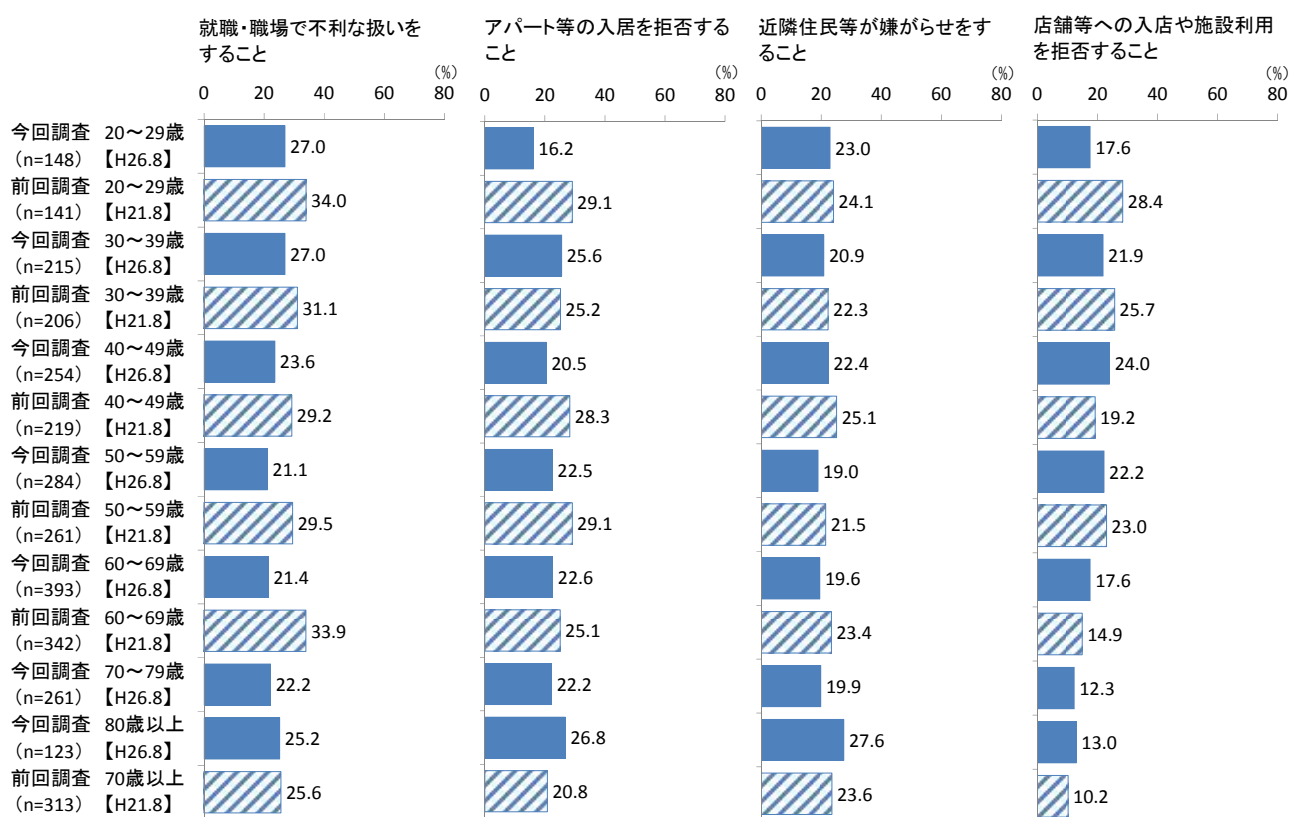


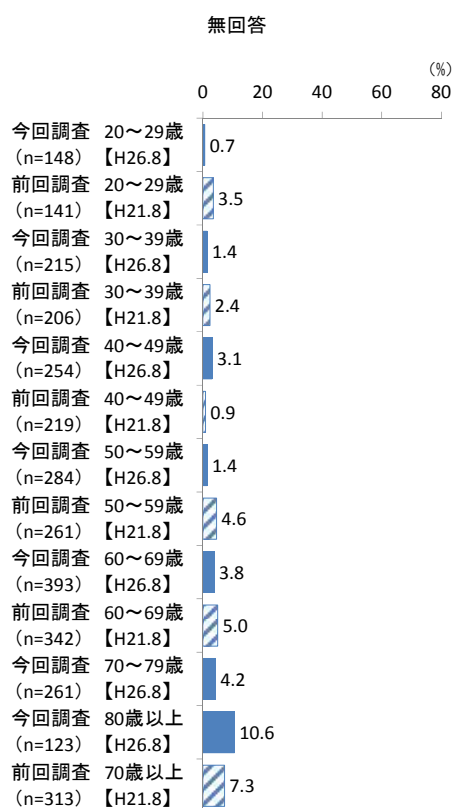
男性で「経済的に自立が困難なこと」と回答した割合が43.2%と、女性の52.9%と比べて9.7ポイント低くなっている。

前回調査と比較すると、男性で「就職・職場で不利な扱いをすること」と回答した割合が20.3%と、前回調査の30.8%と比べて10.5ポイント低くなっている。

図 25-3 ホームレスに関し、どのような人権問題が起きているか【年齢別】







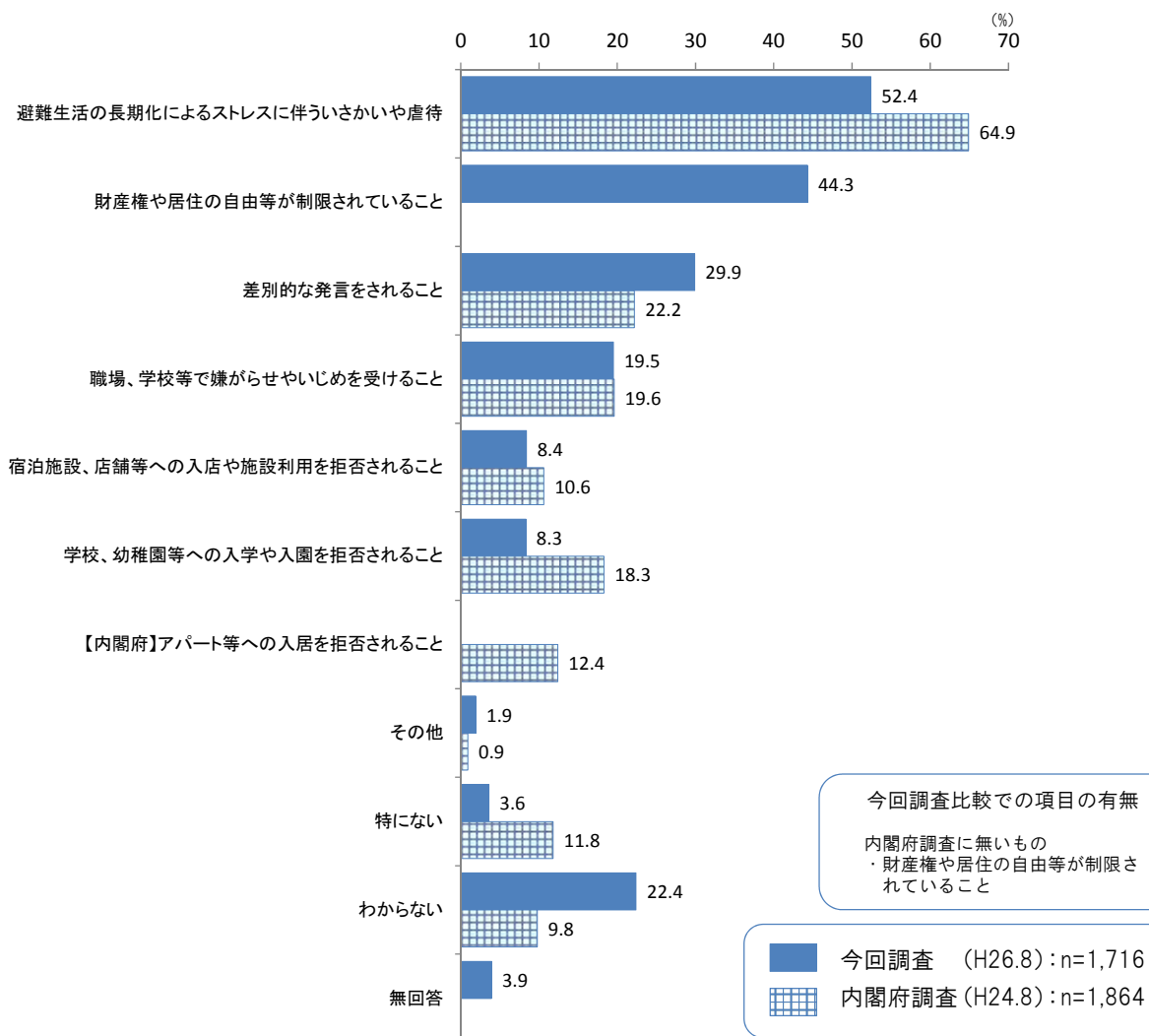
年齢が下がるにつれて「じろじろ見られたり、避けられたりすること」と回答した割合が高くなる傾向がみられ、20～29歳で55.4%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「わからない」と回答した割合がすべての年齢層で高くなっている。

新

問26 あなたは、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

図26-1 東日本大震災等の被災者にどのような人権問題が起きているか【全体】

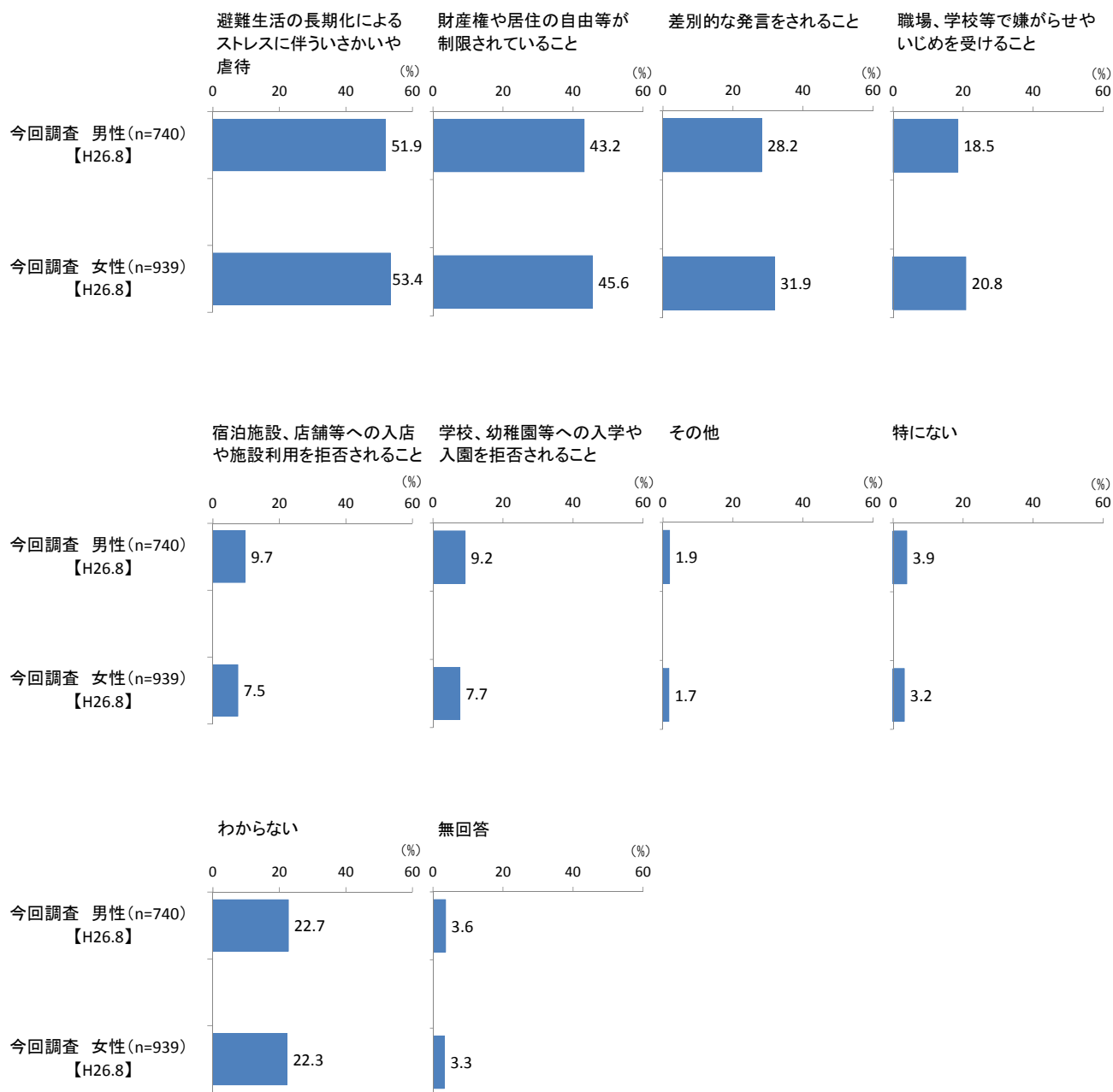


「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」が5割

東日本大震災等の被災者にどのような人権問題が起きているかについて、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」と回答した割合が52.4%と最も高く、次いで「財産権や居住の自由等が制限されていること」(44.3%)、「差別的な発言をされること」(29.9%)となっている。

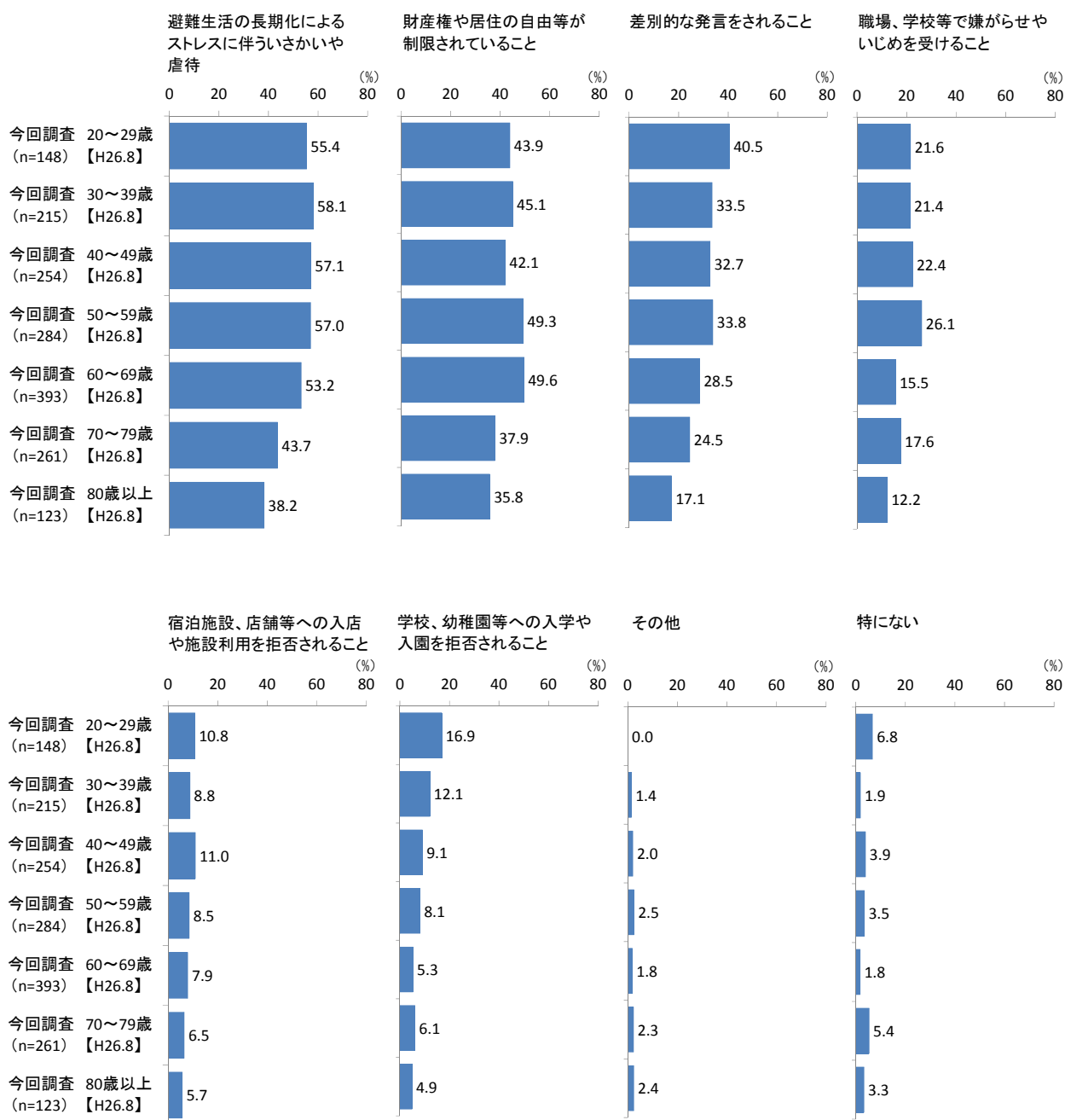
内閣府調査と比較すると、「差別的な発言をされること」、「わからない」と回答した割合が本県では高くなっており、逆に、「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」、「学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること」と回答した割合は10ポイント以上低くなっている。

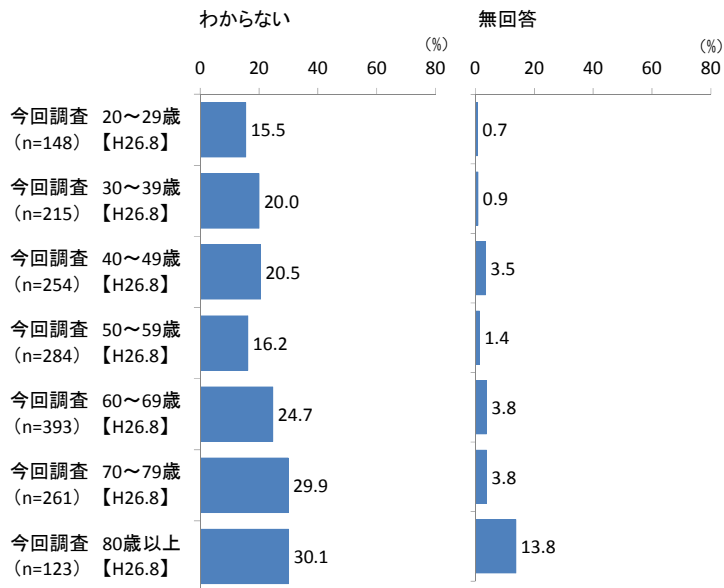
図 2 6 - 2 東日本大震災等の被災者にどのような人権問題が起きているか【性別】



性別で比較すると、大きな差はみられない。

図 2 6 - 3 東日本大震災等の被災者にどのような人権問題が起きているか【年齢別】



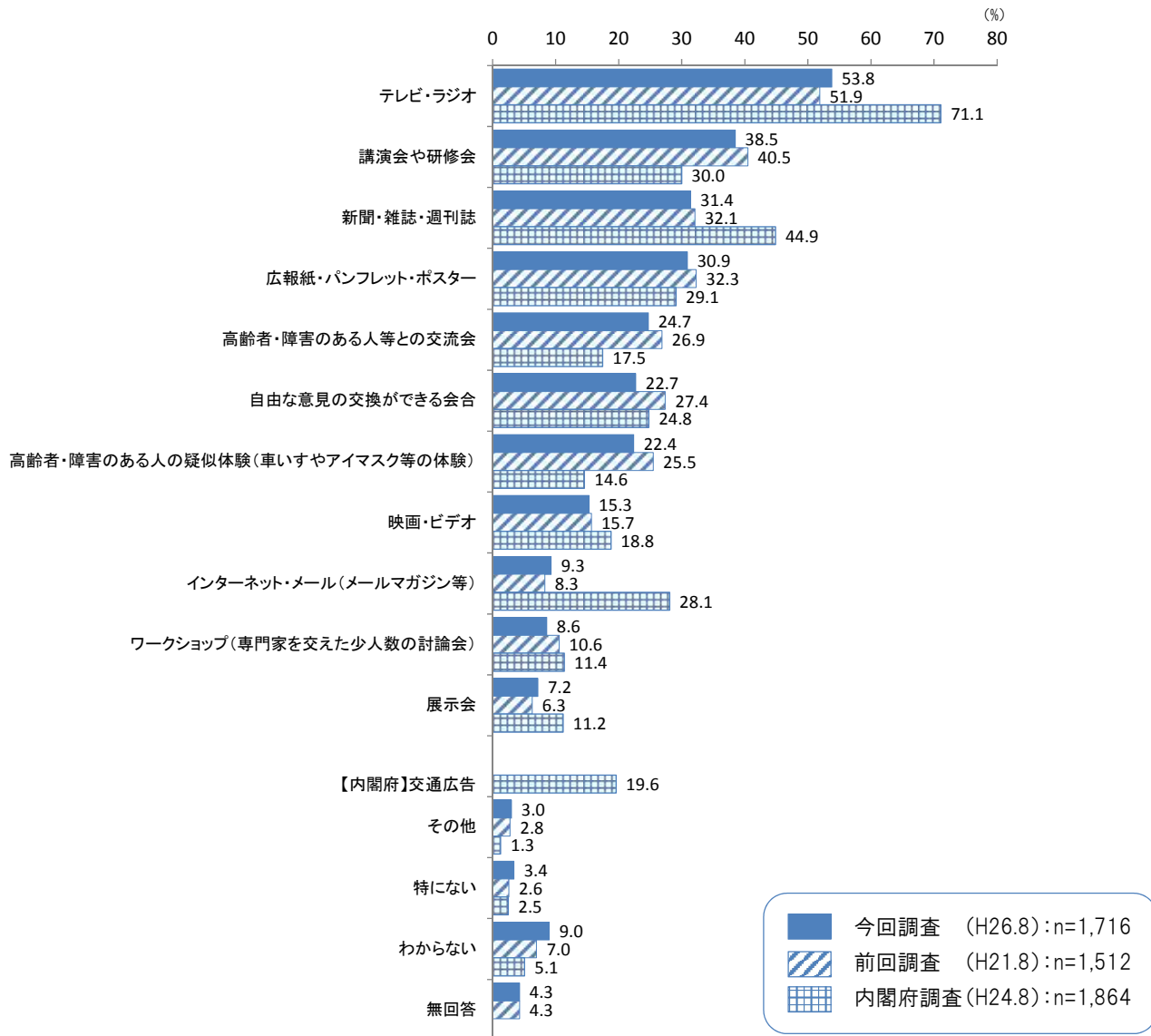


年齢が上がるにつれて「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」、「差別的な発言をされること」、「学校、幼稚園等への入学や入園を拒否されること」と回答した割合が低くなり、逆に、「わからない」と回答した割合が高くなる傾向がみられる。

3 人権課題の解決のための方策について

問27 あなたは、人権啓発を推進するためには、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。(✓はいくつでも)

図27-1 どのような啓発活動が効果的だと思うか【全体】



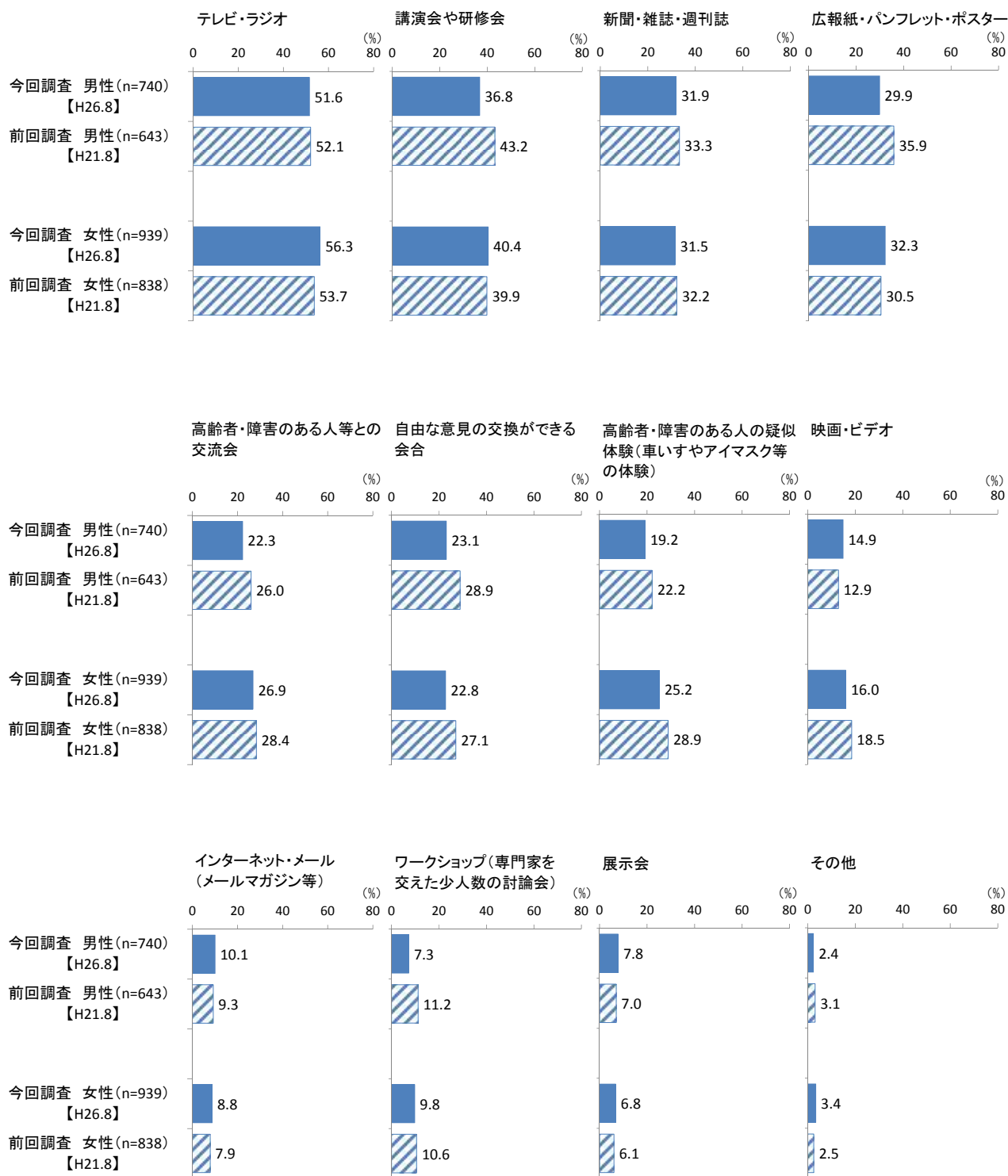
「テレビ・ラジオ」が5割

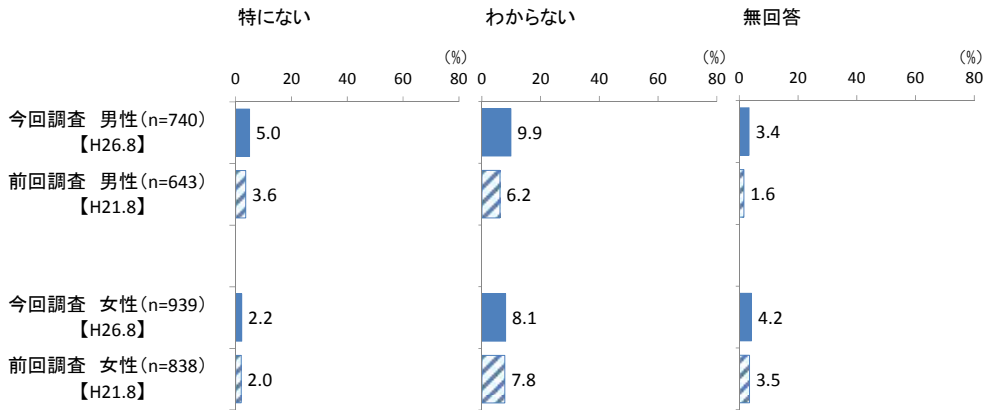
どのような啓発活動が効果的だと思うかについて、「テレビ・ラジオ」と回答した割合が 53.8%と最も高く、次いで「講演会や研修会」(38.5%)、「新聞・雑誌・週刊誌」(31.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「テレビ・ラジオ」、「インターネット・メール(メールマガジン等)」、「展示会」と回答した割合が前回調査よりわずかに高くなっている。

内閣府調査と比較すると、本県においては「講演会や研修会」、「高齢者・障害のある人等との交流会」、「高齢者・障害のある人の疑似体験」と回答した割合が高くなっている。

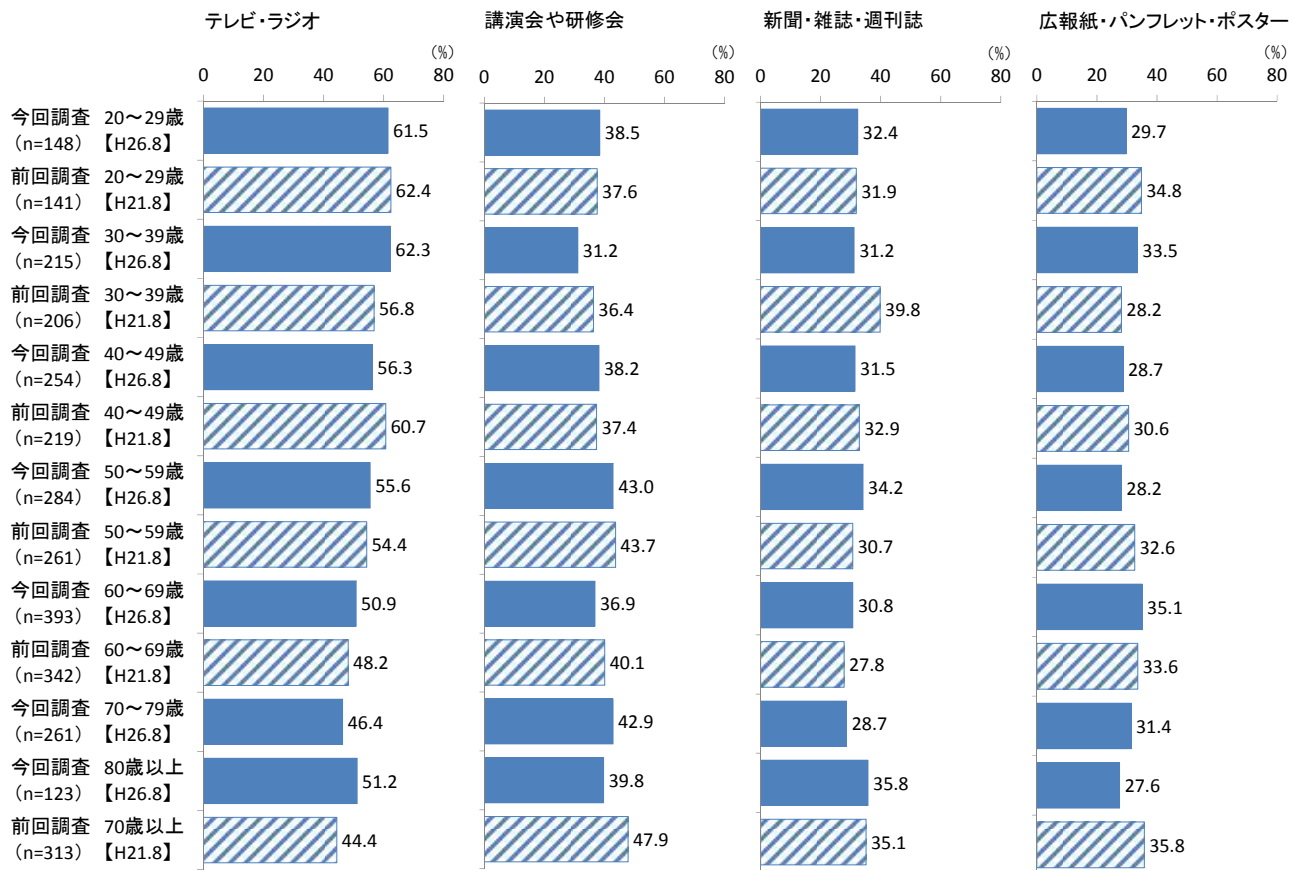
図 27-2 どのような啓発活動が効果的だと思うか【性別】

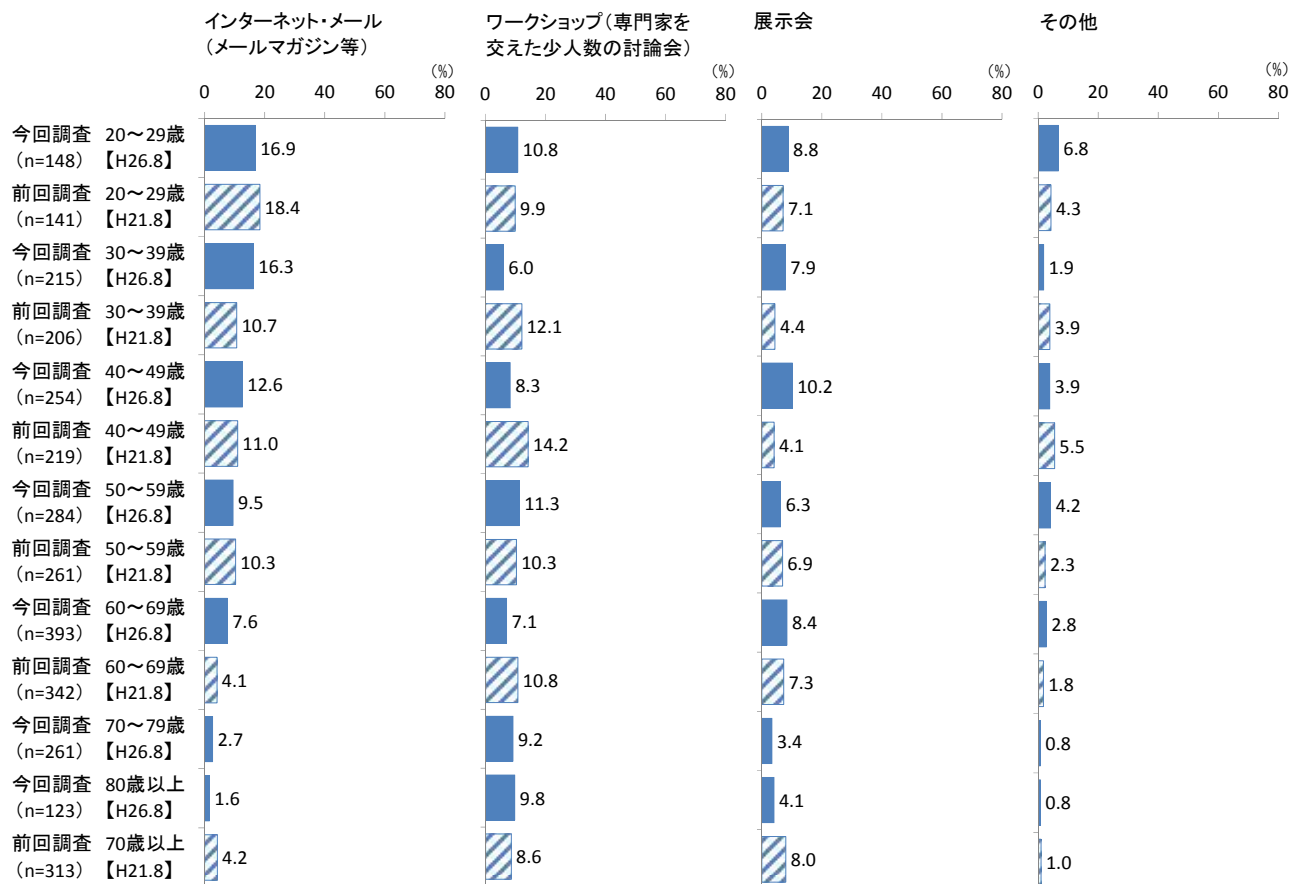
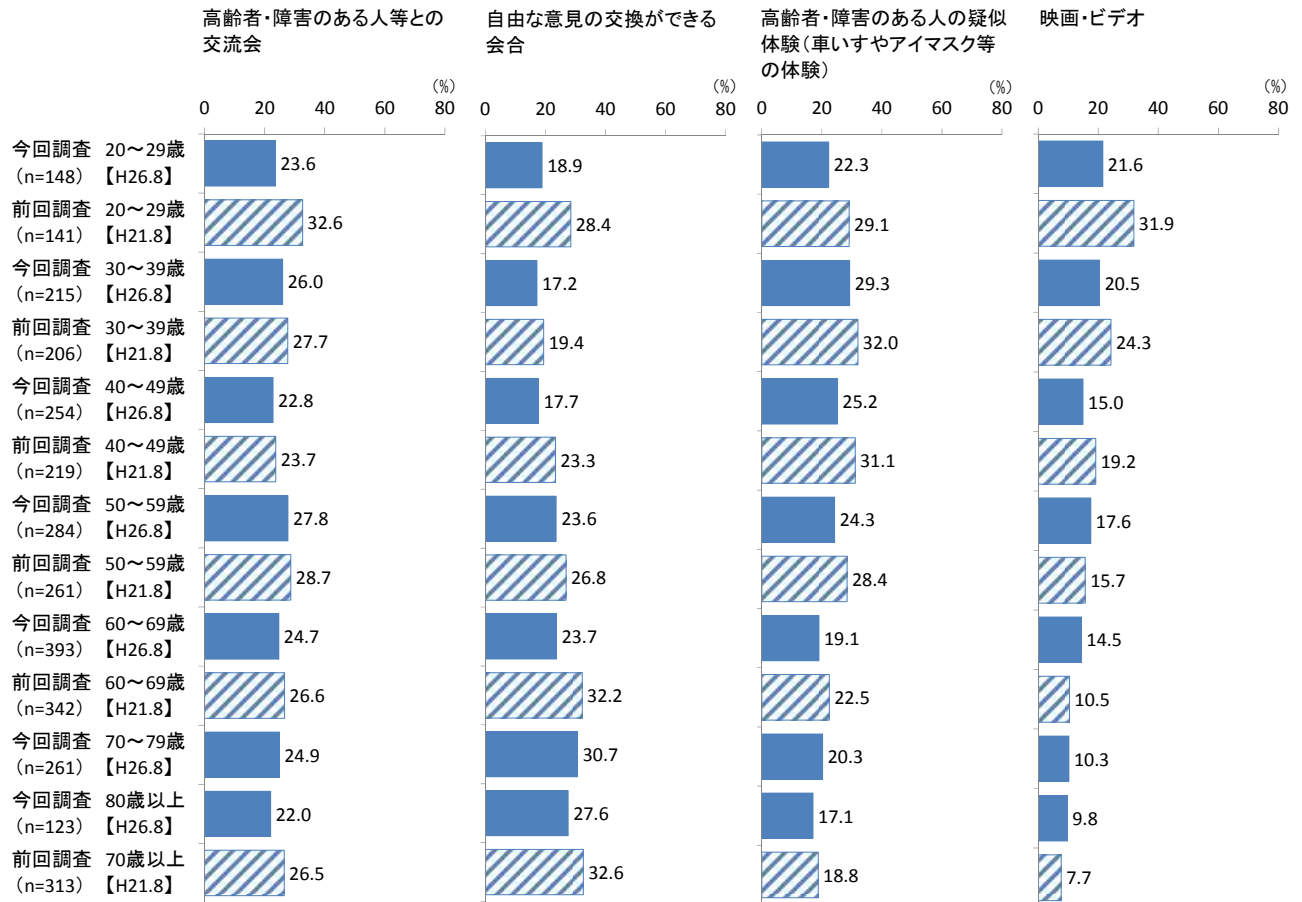


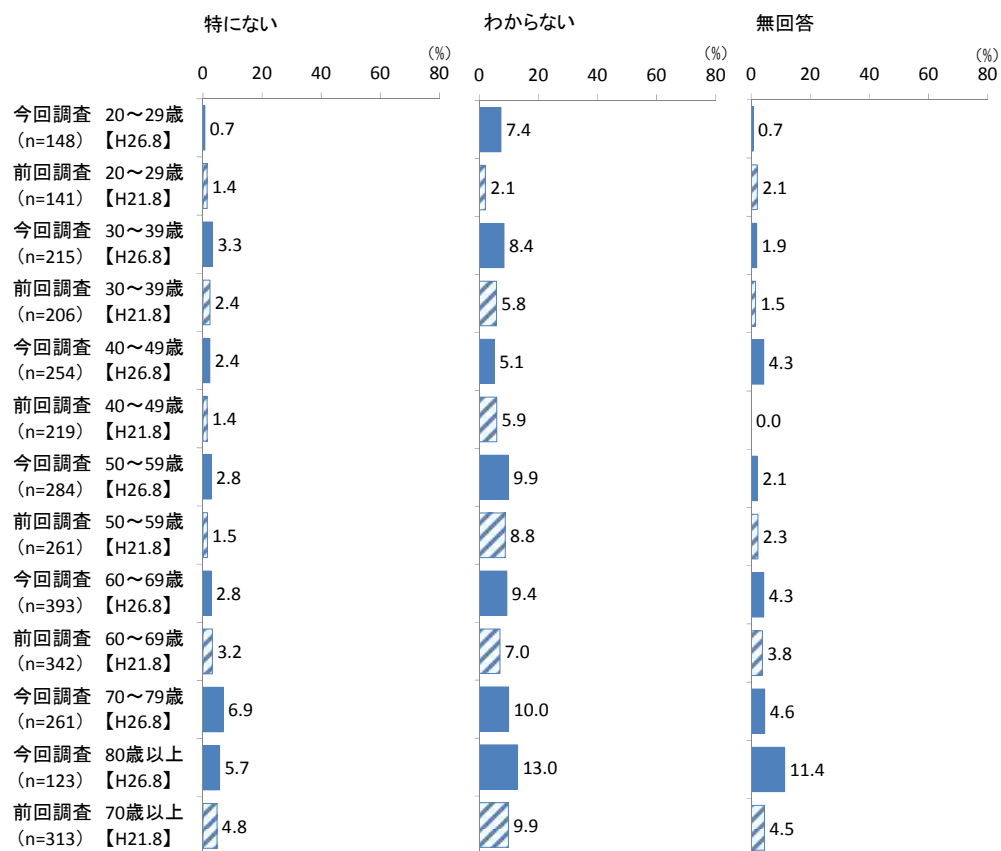


性別で比較すると、大きな差はみられない。

図 27-3 どのような啓発活動が効果的だと思うか【年齢別】





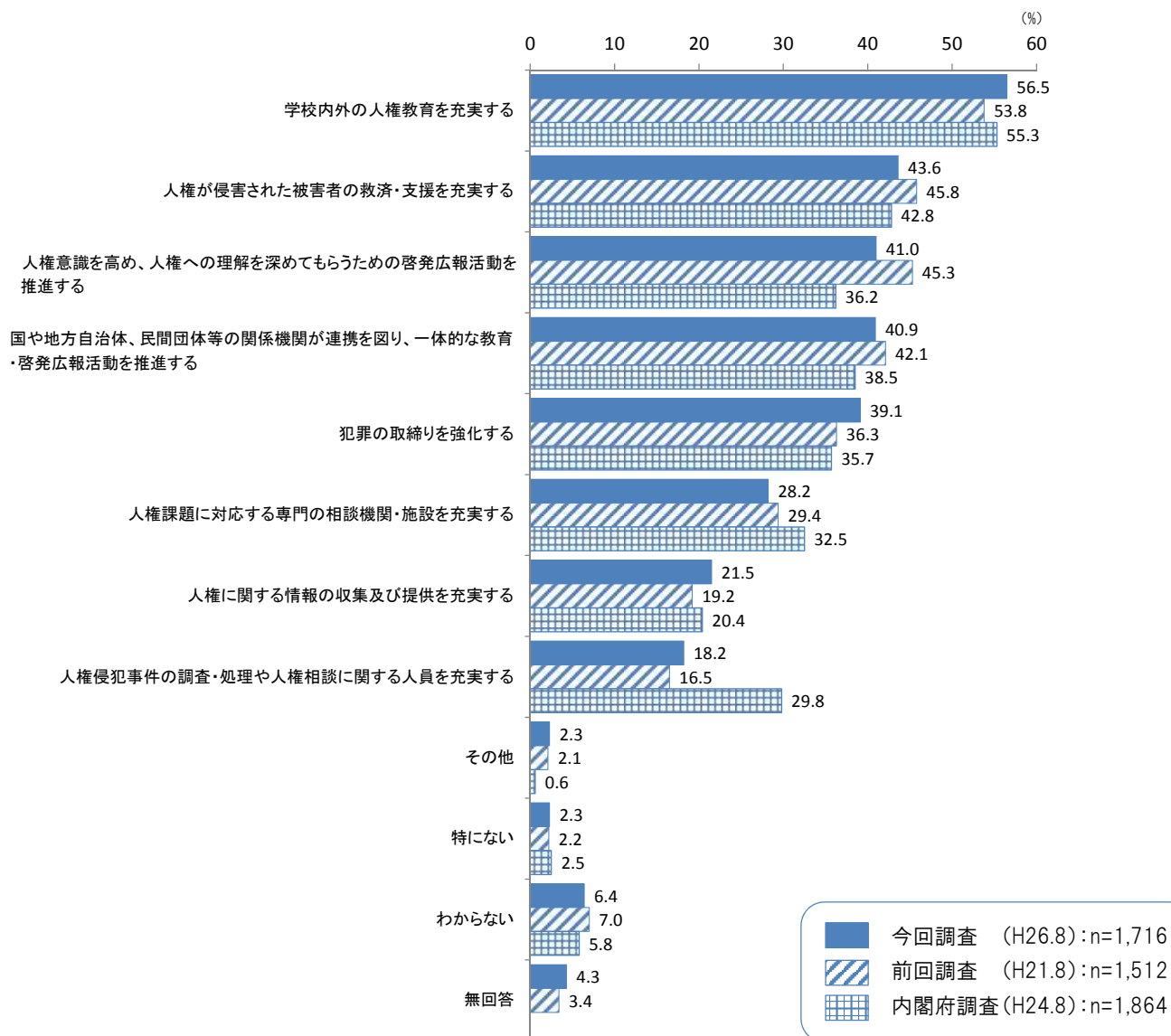


年齢が上がるにつれて「映画・ビデオ」、「インターネット・メール(メールマガジン等)」と回答した割合が低くなる傾向がみられる。

前回調査と比較すると、20～29歳で「高齢者・障害のある人等との交流会」、「自由な意見の交換ができる会合」、「映画・ビデオ」と回答した割合が、10ポイント程度低くなっている。

問28 あなたは、今後、県は、これらの人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(✓はいくつでも)

図28-1 人権課題の解決のための方策【全体】



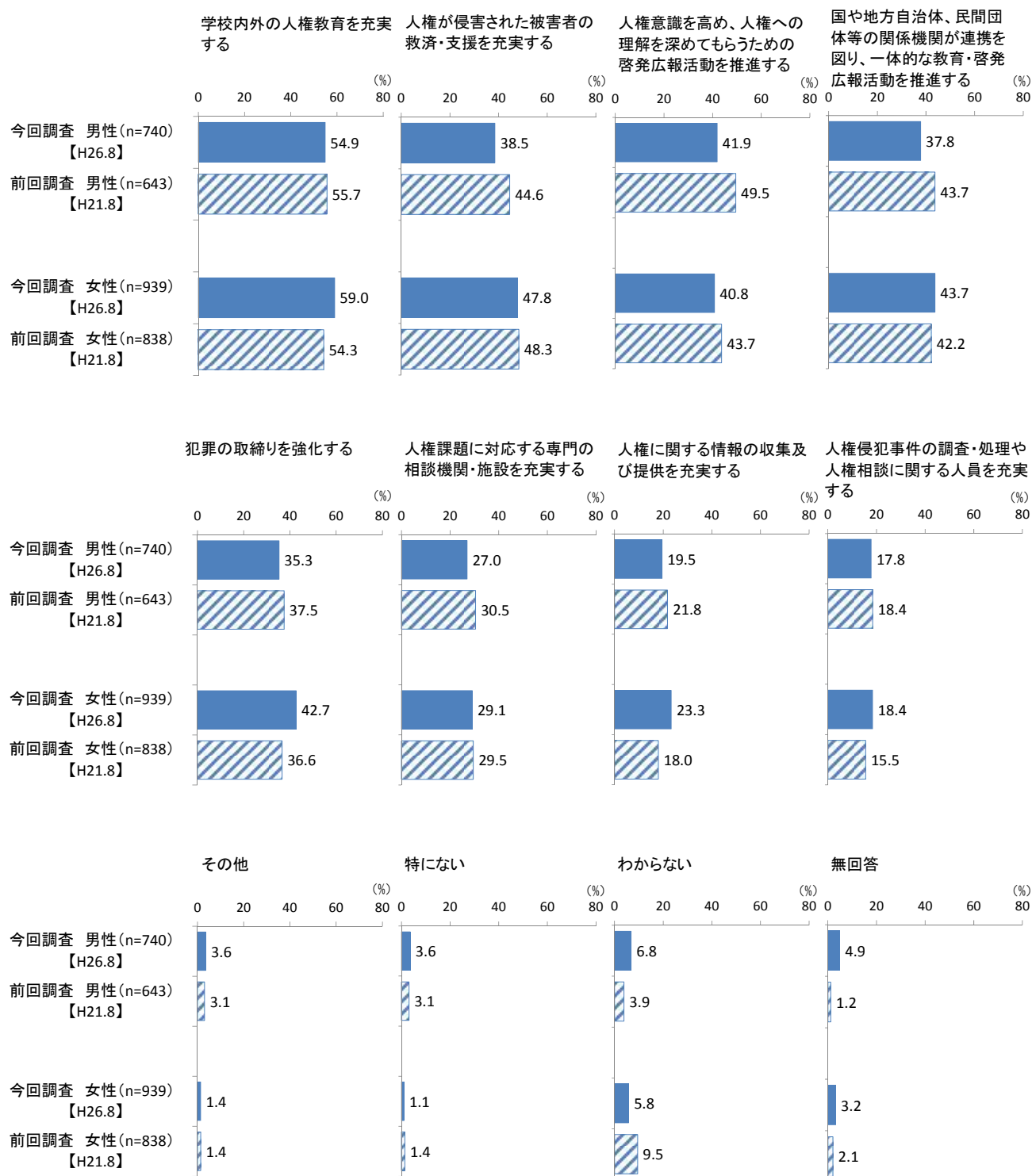
「学校内外の人権教育を充実する」が6割

人権課題の解決のための方策について、「学校内外の人権教育を充実する」と回答した割合が56.5%と最も高く、次いで「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(43.6%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」(41.0%)となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

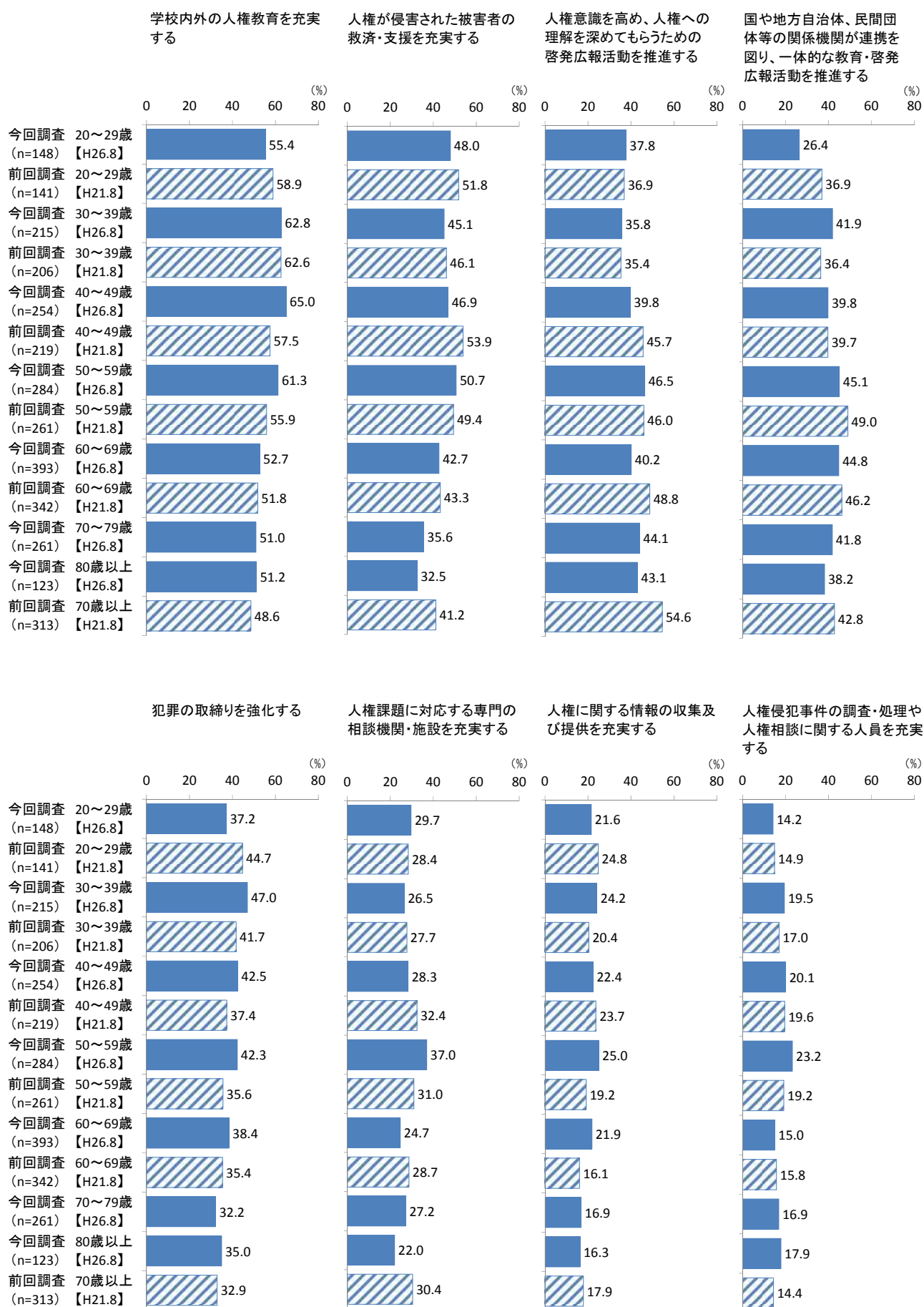
内閣府調査と比較すると、「人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する」と回答した割合が18.2%と、11.6ポイント低くなっている。

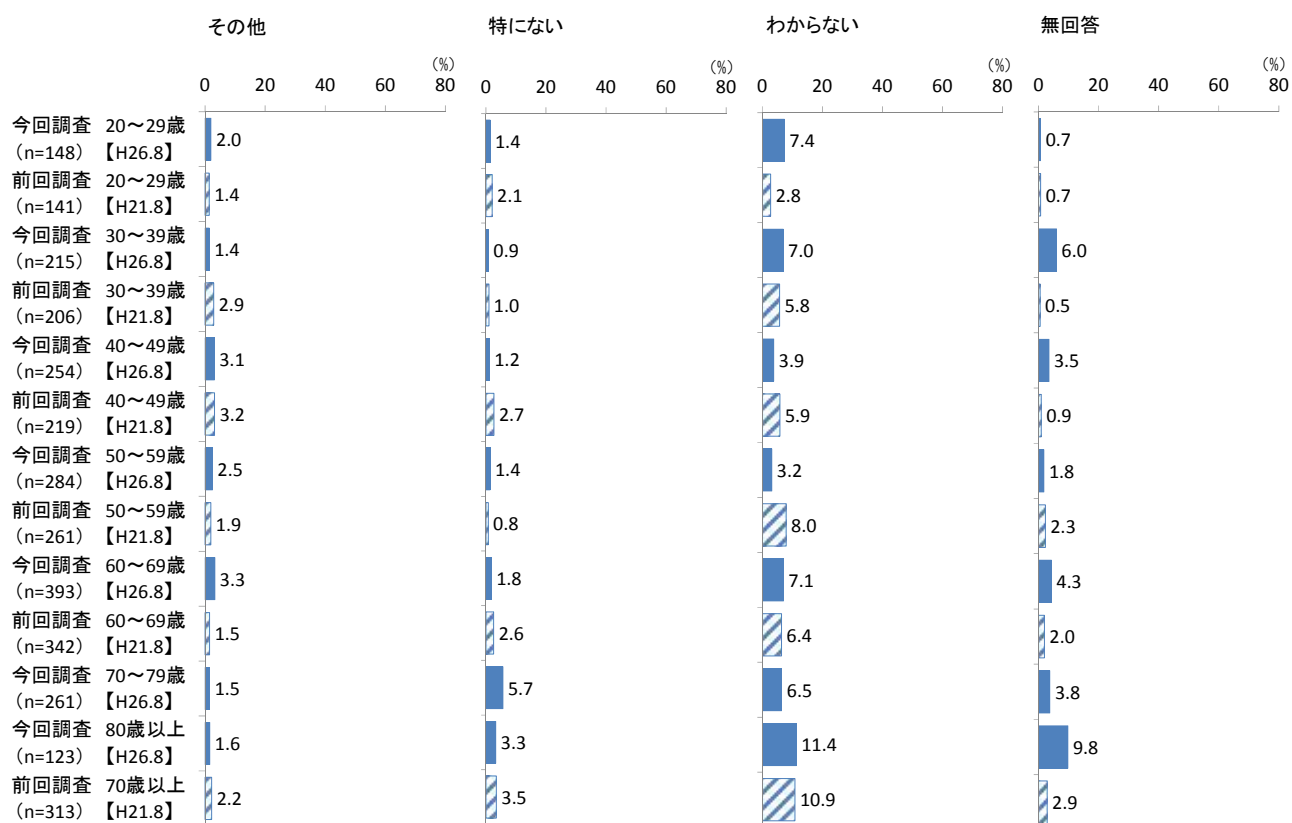
図 28-2 人権課題の解決のための方策【性別】



性別で比較すると、大きな差はみられない。

図 2 8 - 3 人権課題の解決のための方策【年齢別】





年齢別で比較すると、大きな差はみられない。

自由記入欄

さまざまな人権問題について、日頃から考えておられること、また、行政に対してのご意見やご要望など自由にお書きください。

(※)総数 470 件のご意見をいただきました。「主なご意見等」の欄は、いただいたご意見の趣旨を記載しています。

○人権全般に係るご意見等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116件

主 な ご 意 見 等	
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、人権問題をあまり深く考えていなかった。これからは、しっかりと考え、行動していきたい。 ・家庭の中での話合いが大切だ。 ・子ども、高齢者など弱い立場の方への配慮などが不足しているのではないか。 ・人権問題に興味のない人には、どんな啓発をしても無駄だ。それよりも人権侵害に遭った方の心のケアをする機関が必要ではないか。 ・人権啓発は、力が分散する総花的なものより、分野を絞り込んで進めて欲しい。 <p>また、実態把握ができ、実権を持った、たらい回しをしない相談窓口を設置して欲しい。</p>	

○個人人権課題に係るご意見等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174件

個別課題	件数	主 な ご 意 見 等
同和問題	37	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での同和問題の話し合いは、同和問題を知らない子どもにまで、興味を持たせてしまう。同和問題を知らない子は、知らないままで友達と接することができればと思う。 ・同和問題の話聞くことはない。子どもたちも知らないと思う。取り上げない方が消え去っていくのではないか。 ・職場内や結婚の差別は減少してきた。学校の授業では、未だに部落差別の歴史を教えているが、もっとグローバルな考え方で、どここの生まれであろうと一人の人間として尊重する人間づくりを行う前向きな人権教育をするべきではないか。 ・知り合いが、同和問題を理由に結婚しなかった。身近な問題として、学校教育の場などで、考える機会を増やしてはどうか。 ・同和問題はいつまで経っても解消していない。市・県も対策室を設置しているが、変化は感じられない。根絶に向けて力を入れてゆきたい。
子ども	26	<ul style="list-style-type: none"> ・未来ある子どもたちが安心して生活が送れるよう、大人が環境を整え、その環境が守られることを願っている。 ・子どもへの虐待はとても許せないという気持ちと、相談や手を差し伸べる場所があれば違っていたのではと思う気持ちがある。 ・子どもの虐待防止等に向け、福祉関係職員の充実を図り、もっと家庭の中に、関わっていくべきではないか。 ・小中学生のいじめや自殺防止に向けて、学校を挙げて、最大の注意を払い、事前に感知・発見ができるよう、取り組んで欲しい。 ・いじめは「防止」ではなく「許さない」と考えるべき。ゼロにしようとするから学校が隠す。いじめは起きることを前提に対策をすべきだ。
女性	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーカーについて警察に相談していたのに、事件を防ぐことができなかった話を耳にする。親身になって相談にのってあげて欲しい。 ・DV。訴えることができず、苦しんでいる人を救い出す方法を、もう少し考えて欲しい。 ・男女平等は当たり前で大切なことだが、最終的には、人間として尊重されることが人権を考える上で必要だ。 ・男女には、向き・不向き、得意・不得意など能力差がある。一概に、男女平等はどうかと思う。互いが認め合い、尊重できる社会を望む。 ・不妊治療をする女性に対しての認知度が低い。周囲、企業などの理解が得られていないと思う。

個別課題	件数	主 な ご 意 見 等
障害のある人	15	<ul style="list-style-type: none"> 私は3級の障害者だ。今の職場は働きやすいが、以前の職場は、我慢しながら働いていた。会社間で、待遇・給与面等で大きな差がある。 就労を目的に頑張っている我が子(障害児)の将来を考えると楽観視できない。障害者の生活の安定と人権が守られる世の中になって欲しい。 私は障害者だ。会社でときどき言葉の暴力を受ける。いつも我慢している。行政は、もう少し対応策を考えて欲しい。 発達障害は、内面的なもので、外見ではわからない。周囲から理解してもらえないことが多い。 障害児を持つ母親だ。障害児を取り巻く環境は、一年一年よくなってきていると思う。
高齢者	11	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者への理解が薄い。家庭内での話し合いが必要ではないか。 一人暮らしの高齢者、老老介護の家庭などへの支援をお願いしたい。 老後が不安。低収入者でも入れる施設も必要ではないか。 介護の仕事をしている。親を施設に預けっぱなしで、ほとんど面会に来ない方が多いことに驚いた。 以前は老老介護であった。要介護5で待機をしていたが、運良く特別養護老人ホームに入所できた。大変ありがたい。経済的には大変だ。
その他	68	<ul style="list-style-type: none"> ハンセン病への認識が改善されつつあることは、うれしく思う。 インターネットは便利だが、人を傷つけたり、自分が傷つけられたりするので本当に怖い。 最近、心配なのがネットいじめである。正しい使い方を学校で教えて欲しい。 職場でのパワハラが原因でついに病気になった。人権が守られる環境が欲しい。 東日本大震災の避難対象区域外の人が自主避難をしているのに、支援がない。行政、政治、経済界等の人権意識が低い。

○行政へのご意見等・・ 93件

主 な ご 意 見 等
<ul style="list-style-type: none"> 人権問題への対応は、個人の認識をいかに高めるかである。そのためには、教育や啓発に資金をつぎ込み、人権意識の向上を図るべきと思う。 人権問題は小さな悩み相談のように感じがちだが、本当は大きな社会問題だ。犯罪などに発展する前に、対応することが大切だ。相談のしやすさが必要ではないか。 人権を侵害された際の相談できる機関が必要であり、困っている人を孤立させないことが大切だ。 公務員の質が落ちている。学校の先生方の言動は残念でならない。研修や適性検査などにより、教師の資質を向上していただきたい。 時代の変化、技術の進歩等に、公務員等の知識、意識が何歩も時代から遅れていると思う。何とかして欲しい。

○調査へのご意見・その他・・ 87件

主 な ご 意 見 等
<ul style="list-style-type: none"> この調査に答えて、人権問題について知らないことが多く、考えさせられた。 あまりにも調査項目が多すぎて、気を失いそうになった。もう少し簡単で、回答しやすい項目にして欲しい。 このような調査は、何の意味があるのかわからない。これで職務が遂行できていると思わないで欲しい。 家庭、地域、学校、職場など全てのところで他人を尊重し、意見が異なっても仲良くできる社会ができたなら幸せだと思う。 各人の交流や親交が希薄になっている。人間らしく話し合って、よりよい環境づくりができないものかと思う。